

尋常小學地理書 卷二

文
部
省





學地理書 卷二

文 部 省

4233
日 月
意



第一 北海道地方

一區域	一
二地勢氣候	一
三產業	五
四交通	十二
五都邑	十四
六千島列島	十五
第二 樺太地方	十七
一區域	十七
二地勢	十七
三氣候產業	十九
四住民都邑交通	二十二
第三 臺灣地方	二十四
一區域	二十五
二地勢	二十五

三氣候産業	二十九
四交通	三十四
五住民	三十五
六都邑	三十六
七澎湖諸島	三十八
第四 朝鮮地方	三十八
一區域	三十八
二地勢	三十八
三氣候産業	四十四
四交通	五十
五住民都邑	五十二
第五 關東州	五十四
第六 我が南洋群島	五十八
第七 日本の總説	六十
第八 アジャ洲	八十七

附錄	地球の表面	第十四	第十三	第十二	第十一	第十	第九	第六	第五	第四	第三	第二	第一
.....		世界と日本	大洋洲	南アメリカ洲	北アメリカ洲	アフリカ洲	ヨーロッパ洲	アフリカ洲	ヨーロッパ洲	五印度	六東南アジア	四シベリヤ	三支那
.....	百七十四		百六十四	百五十六	百四十四	百三十九	百十八	百十五	百十二	百九	百	九十三	八十七

尋常小學地理書卷二

第一 北海道地方

區域

北海道地方とは北海道本島、その近海の島々及び千島列島をいふ。この地方を管轄する北海道廳は札幌さっぽろにある。

二 地勢·氣候

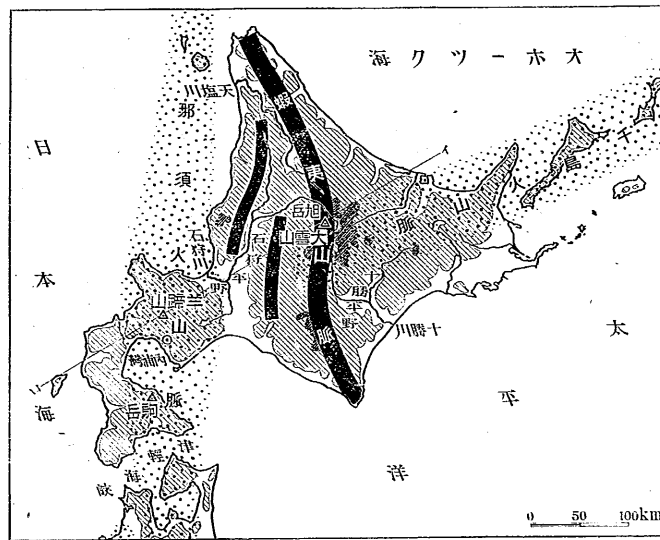
北海道本島は南西部の半島を除くと大體菱形（ひしがた）になつてゐる。

菱形の部分は、蝦夷山脈が南北に連なり、千島火山脈が東西に通つてゐる。これら兩山脈が出合つてゐる中央部は旭岳を主峯とする大雪山火山群などがあつて、土地が最

以下 開き不良

も高く、本島の大分水嶺となつてゐる。しかしその他の山地は一般にさほど高くはなく、處々に盆地もある。

半島の部分には那須火山脈が南北に通つてゐて、駒岳、羊蹄山などの火山がある。千

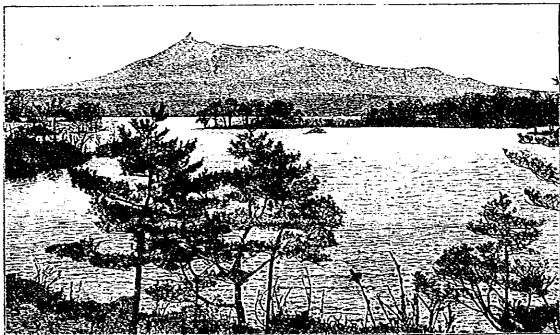


圖面斷と圖略の勢地の島本道海北

川・平地



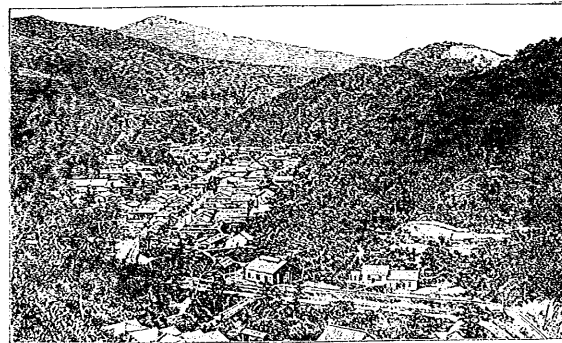
旭
 岳
 も多い。
 主な川は
 中央部の
 高地から
 出てゐる
 石狩^{いしけう}・天塩^{てんしほ}
 十勝^{としかち}の諸
 川である。
 いづれも
 我が國屈



沼　大　と　岳　駒

海岸

指の大きな川で灌漑發電に利用され、その沿岸の平野は次第に開墾されて、本島の主な農業地となつてゐる。又釧路川沿岸以東にも廣い平野がある。中でも石狩川沿岸の石狩平野は面積が最も大きく、地味が肥え、開墾が進んでゐるから、農産物が殊に多い。又この平野は工業も發達し、交通も便利で、随つて人口が多く、處々に都邑がある。海岸線は大きな出入はあるが、小さな出入に乏しく、又砂濱が發達してゐるので、天然の良港がまれ



登別温泉

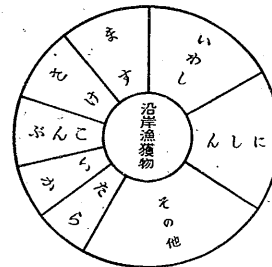
氣候

である。しかし函館小樽室蘭釧路の諸港はそれ〴〵港の設備が出來てゐて、船の出入が便利である。本島は位置が北方にあるので、冬は一般に寒さがきびしく、殊に北東部の海岸地方は寒流のために氣温が低く、冬は海面が氷結する。しかし西海岸地方は暖流の影響のために氣温が比較的高い。内陸の盆地は寒暑の差が著しく、やゝ大陸性氣候を呈する。

三 産業

本島はもと人口が至つて少く、産業は進まず、交通も不便であつたが、拓殖事業の進行に伴ひ、他の地方から移住して來るものが次第に多くなり、人口は年々増加して、今や三百萬を超え、交通の發達と共に多くの都邑も出來、諸

水産業



北海道地方沿岸漁獲物の産額
(昭和九年) 総産額約四千四百万圓

種の産業も大いに進んで来た。殊に農業・工業の進歩は著しく、生産額の多いことでは、いづれも従来本島第一の産業であつた水産業を凌ぐやうになつた。

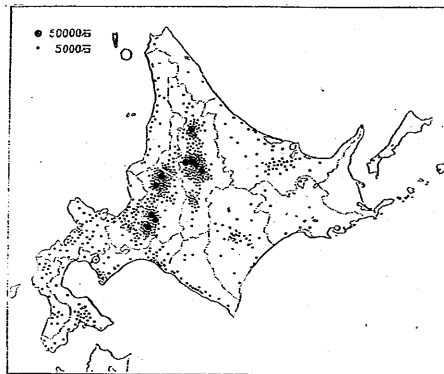
近海は寒流・暖流があるので魚類海藻類が多く、世界で名高い漁場となつてゐる。水産業は



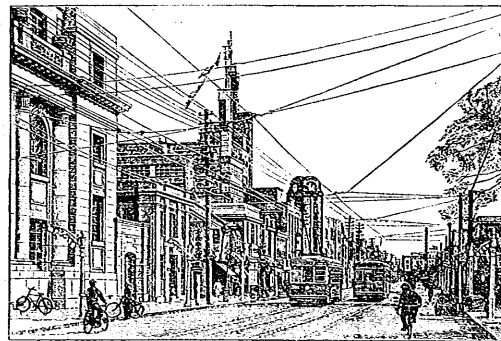
にしんの陸揚げ

本島の産業は、中最も早く發達したもので、にしんといわします。さけ、いか、たらこ、こんぶの

農業・牧畜

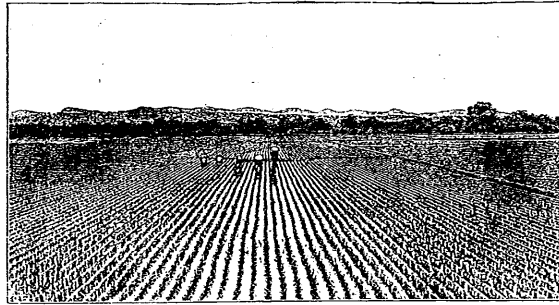


産額が多い。これらの漁獲物は乾物・塩漬・罐詰等に製造されて、多くは函館・小樽・釧路・根室から各地に積出される。



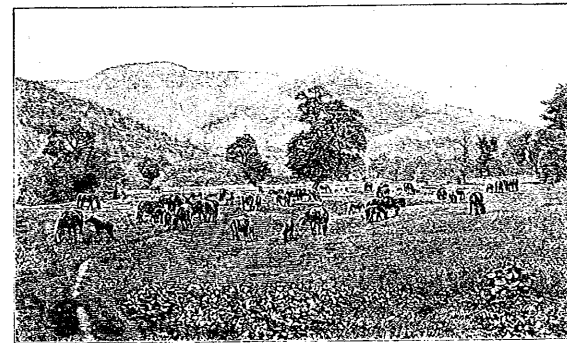
函館

この地方は冬は寒さがはげしいが、夏は割合に気温が高いので、農業には適してゐる。人口が増加し、開墾が進むに従つて農業が



額も多い。農産物の主産地は石狩
平野・上川盆地・十勝平野及び網走

著しく發達して來た。中でも米は近
來處々で栽培され、その産額も著し
く増加して
來た。又燕麥
小麥、じゃが
いも、豆を多
く産する外
薄荷、亞麻、除
蟲菊、甜菜、り
んご等の産

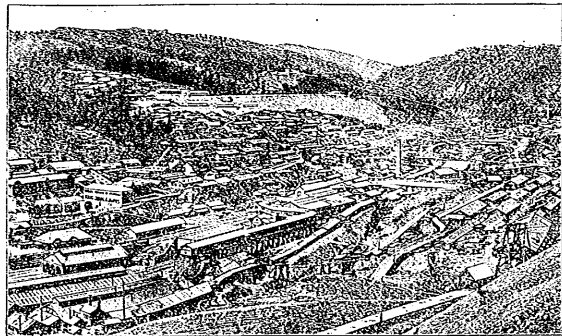


札幌附近の牧場

狩地二

鑛業

野付牛附近であつて、主な集散地
は札幌・小樽・旭川・帯廣である。
原野が多いので、牧畜は一般に盛
である。殊に太平洋方面の原野で
は馬の牧畜が盛で、大きな牧場が
あり、又各地で馬市が開かれる。石
狩平野では牛の牧畜が盛で、乳製
品の産額も多い。



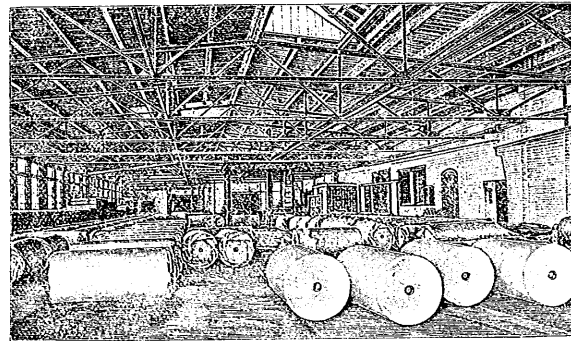
石狩炭田の炭坑

鑛産物の中では石炭が主なもの
で、これに次ぐものは鐵金、硫黃、石
油である。石炭は石狩平野の東にある石狩炭田と、釧路附
近の釧路炭田とが名高い。石狩炭田は筑豊炭田に次ぐ大

林業

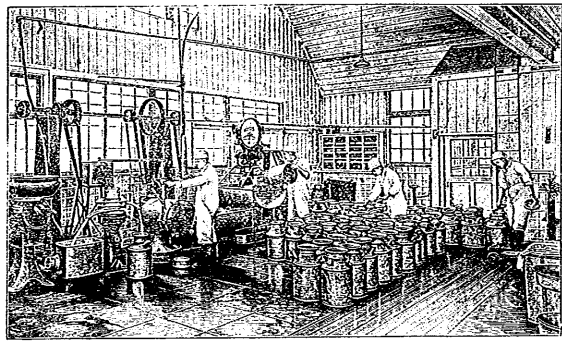
工業

炭田で、こゝから出る石炭は多く
室蘭小樽から各地に送られる。
本島には廣くえぞまつといまつ
等の森林があつて、パルプの原料
を供給するのみならず、又用材と
して各地に送られる。用材の主な
集散地は小樽釧路である。
石炭や水力の利用が便利であり、
原料が豊富であるから、工業も著
しく發達して來た。苦小牧釧路江
別には大きな製紙工場があつて、木材を原料として盛に
パルプ洋紙を製してゐる。又札幌にはビール・バター製麻澱



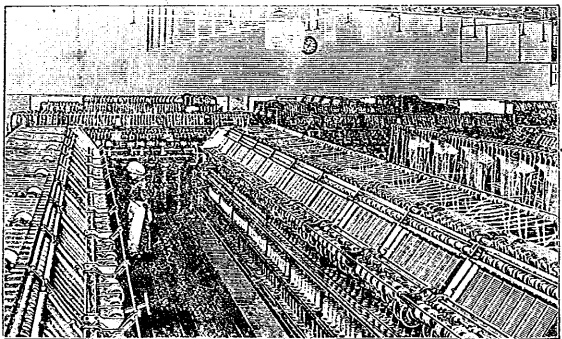
苦小牧に於ける製紙工場

工場二
等



バター製造所

粉等の工
場があり、
小樽では
製罐工業
が盛であ
り、室蘭に
は宏大な
製鋼所が
ある。函館
の造船所



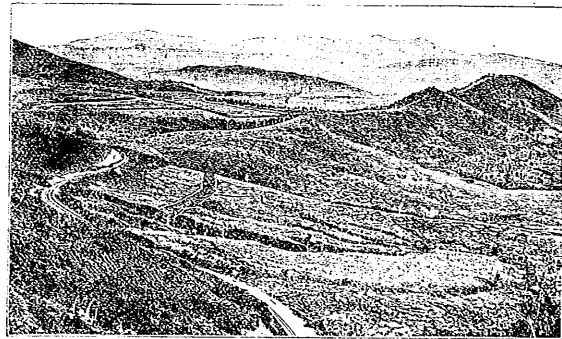
製麻工場

及びその附近にあるセメント工場も著名である。又旭川
では製粉業、帯廣では甜菜糖の製造が行はれてゐる。

四 交通

陸上の交

この地方の最も重要な鐵道は函館本線宗谷本線室蘭本線根室本線である。函館本線は函館から小樽札幌岩見澤瀧川等を経て旭川に至る線で、この線は旭川から稚内に至る宗谷本線と連絡して本島の主要な縦貫線となつてゐる。室蘭本線は函館本線の長萬部から分れ、室蘭を経て岩見澤で再び函館本線と合するもので、又重要な線である。根室本線は瀧川から分れ、東の方、狩勝峠を越



峠 勝 狩

海上の交

え、帶廣釧路等を経て根室に達するもので、本島に於ける東西の連絡線として重要である。これらの諸線は共に我が國の鐵道の幹線の一部で、函館では青森と稚内では樺太の大泊と鐵道連絡船によつて互に連絡してゐる。

その他、留萌本線、名寄本線、網走本線、釧網本線、石北線等があり、又石狩炭田地方には石炭を運搬するために出來た多くの線がある。海上の交通は半島各方面に發達し、函館小樽室蘭の諸港は本島に



港 樽 小

於ける最も重要な港である。その他の方面では釧路根室がそれ、沿岸航路の中心となつてゐる外、見るべきものがない。又近海は冬季風雪が多い上に、季節によつては太平洋方面には霧が深く、オホーツク海方面には流水が多いから、海上交通の發達はまだ一般におくれてゐる。

五 都邑

本島で都邑の多い處は、産業の盛な石狩平野及び半島部の海岸地方であるが、人口の増加に従つて、他の諸地方にも都邑が漸次發達して來た。

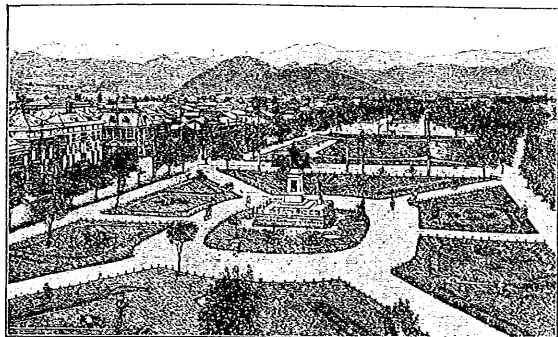
都邑の中、札幌・函館・小樽の三市は最も重要なものである。中でも札幌は北海道地方での政治の中心地で、又商工業の盛な處である。北海道帝國大學もこゝにある。市街は一

體に道幅が廣く、市區が正しく區劃されてゐる。函館・小樽は主要な港で、本州樺太・シベリヤ等に航路が通じてゐる。又室蘭は函館・小樽に次ぐ重要な港である。

旭川は上川盆地の中心地、帯廣は十勝平野の中心地で、共に陸上交通の要地である。又釧路・根室・網走等の海岸の都邑は漁業の中心地として發達したものである。

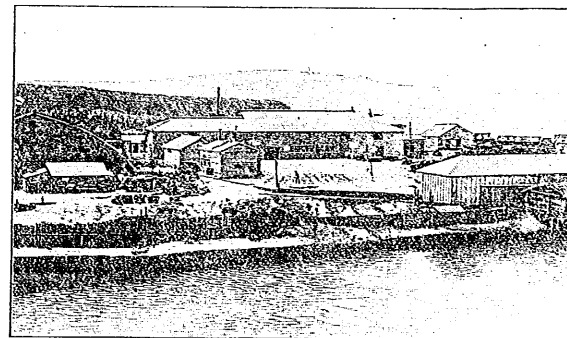
六 千島列島

千島列島は北海道本島とロシア領のカムチャツカ半島と



札幌

の間に連なり、擇捉島その他多数の島々から成立つてゐる。この列島には千島火山脈が通つてゐて、地勢がけはしく、地味もやせ、冬の寒さもはげしいから、住民も少く、陸上の産物も極めて少い。けれどもさけます等の水産物が多いから、夏の間は漁業のため各地からこゝに來るものが少くない。又その位置がロシア及びアメリカ合衆國の領地に近いので、國防上重要な處である。



千島の罐詰工場

第二 樺太地方

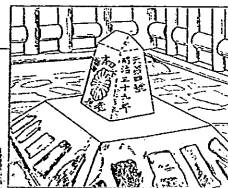
一 區域

樺太地方とは樺太島の南半部をいふ。この地方を管轄する樺太廳は豊原にある。

二 地勢

この地方は北はロシア領の樺太と地つゞきで、北緯五十度の線が國境になつてゐる。西は間宮海峡を隔ててシベリヤと相對してゐる。

地勢は大體丘陵性で南北に細

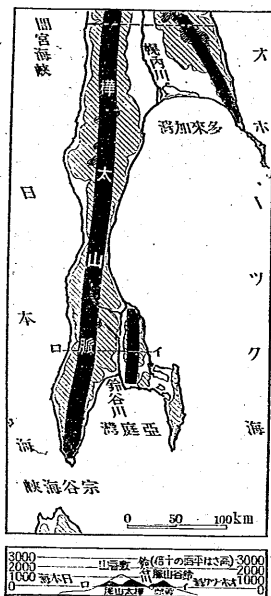


我が國とロシアの境界標

山・川・平地

海岸

長い。樺太山脈は縦に走つて主な分水嶺となつてゐる。樺太山脈の東には、北部にも南部にも小さな山脈があつて、これら山脈の間には細長い平地がはさまれてゐる。北部の平地には幌内川があり、南部の平地には鈴谷川がある。北に多來加灣、南に亞庭灣があるが、海岸線は出入に乏しく、その上、冬季は沿海が大部分凍るので良港がない。大泊は内地との交通上重要な港であるが、冬季は碎氷船を使用しなければならぬ。眞岡本斗はこれに次ぐ港で、いづれ



樺太地方の地勢と断面圖

も不凍港である。

三 氣候産業

氣候

この地方は我が國で最も北にある上、近海を流れてゐる寒流の影響を受けるので、気温は北海道本島よりも低く、冬季はその期間が長くて、寒さがきびしい。たゞ西海岸の南部は暖流の影響のため、氣候がやゝ溫和である。

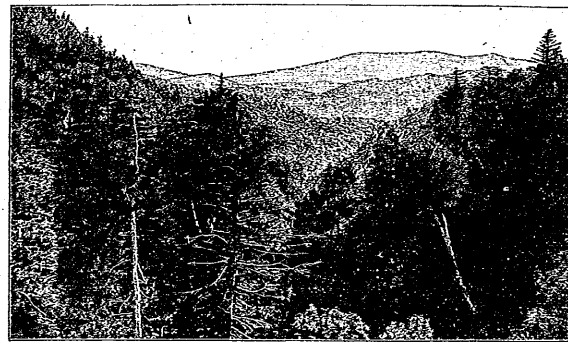
産業
農業
牧畜業

気温が低いので農業は發達してゐない。農産物としては燕麥、じゃがいもの外は、まだその種類も産額も少い。しかし耕作に適する土地も多く、なほこの地方に適する作物も少くないから、今後は次第に發達するであらう。又近年處々に養狐業が行はれ、毛皮の産が少くない。

工業

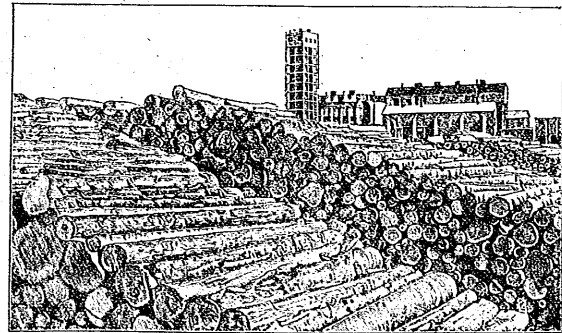
この地方には廣い區域に亘つてとゞまつゝえぞまつから

まつ等の林があり、木材の産出が多い。随つて木材を原料



林のつまら

とするパ
ルプ工業
及び製紙
工業が極
めて盛で
主な都邑
にはその
工場が設
けられて
ゐる。パ



場工ブルバの原豊

プ工業及び製紙工業はこの地方第一の産業で、その製品

鑛業

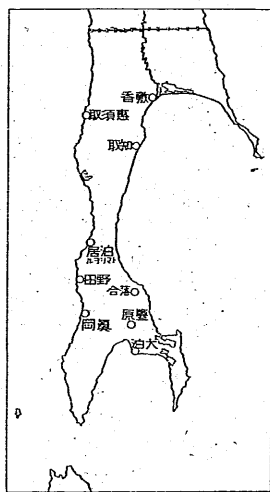
は多量に内地に送られる。

樺太山脈には石炭が廣く分布され、各地で採掘されてゐて、近來その産額が頗る増加した。

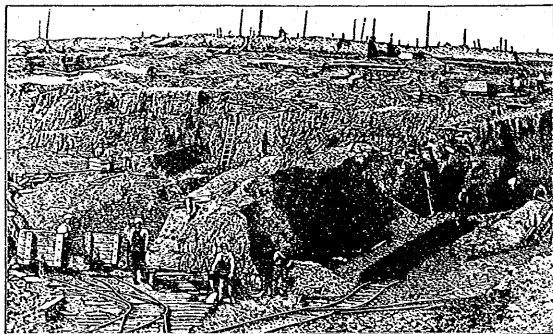
水産業

近海ではにしんをはじめ、たらま

すさけ、かに、こんぶ等が盛にとれる。随つて水産加工物の産額も多い。漁期には他の地方から來て漁業に従事する



布分の場工紙製び及ブルバ



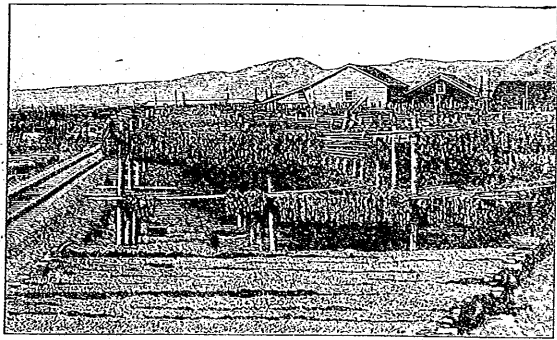
坑炭の太樺

ものが多い。
海豹島はおつとせいの繁殖地として名高い。

四 住民都邑・交通

住民は三十餘萬、その大部分はこの地方が我が領土となつてから後、内地から移住したものである。この外にアイヌ人・ギリヤーク人等も住んでゐるが、その数は極めて少い。

この地方は我が國で最も人口密度が小さく、都邑も少い。主な都邑は豊原を除けば大てい海岸にあつて、漁業やパ

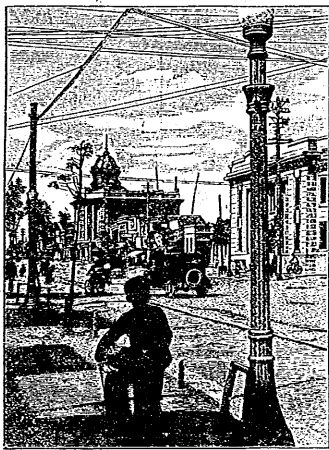


にしんの乾場

都邑

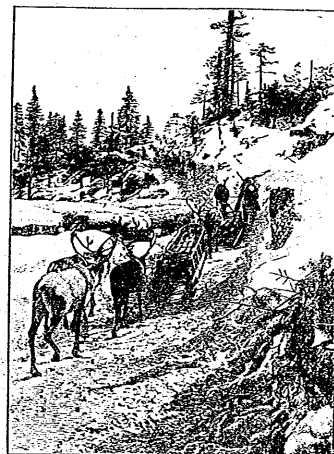
住民

交通



豊原の市街

ルプ工業製紙工業石炭業などによつて發達した處である。豊原は鈴谷川流域の平野にあつて、政治の中心地で、交通の要地である。大泊は樺太地方の門戸で、木材や水産物を集散し、稚内との間には鐵道連絡船が往來してゐる。敷香は幌内川下流平野の中心地として發達した處である。眞岡は漁業の中心地で、又惠須取と知取とは共にパルプ工業製紙工業が盛な處である。又惠須取附近では石炭の採掘が盛である。交通はまだ發達しない。殊に北部は不便である。鐵道は大



橋

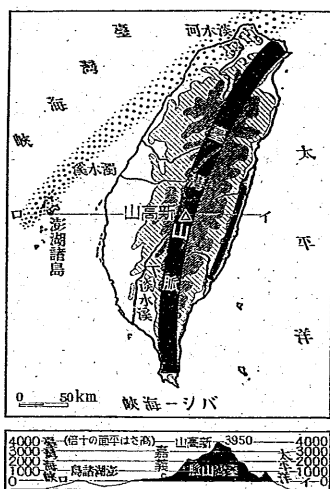
泊を起點とし、豊原を経てオホーツク海の沿岸に通ずるものと、眞岡を中心として西海岸を走るものがある。この兩線を連絡するために、豊原眞岡間には横斷線がある。又冬は橇が盛に利用されてゐる。海上の交通は大泊眞岡本斗等を中心として沿岸及び内地の諸港との間に行はれるが、海が氷結したり、流水のある季節には船の交通が大いに妨げられる。

第三 臺灣地方

一 區域

臺灣島と澎湖諸島とを合はせて臺灣地方といふ。この地方は行政上五つの州と三つの廳に分たれ、これを總轄してゐる臺灣總督府は臺北にある。

二 地勢



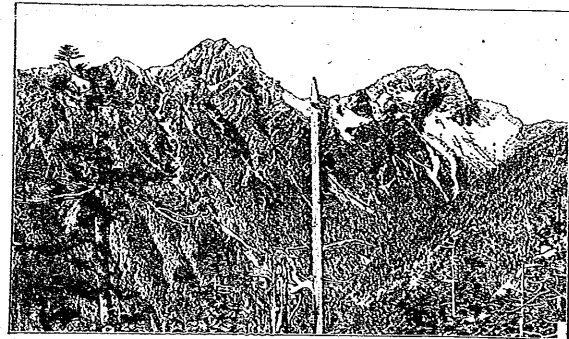
臺灣地方の地勢と断面圖

臺灣島は我が國の南西端に位する大きな島で、南北に長く、南はバシー海峡を隔てて、フィリピン群島と相對し、西は臺灣海峡を隔てて、支那と相對してゐる。澎湖諸島は臺灣海峡にある。

山・平地

臺灣島の東部から中部にかけては高い山脈がいくつも相並んで南北に連なつてゐて、地勢が甚だけしい。その主脈は臺灣山脈といつて、本島の大分水嶺をなしてゐる。その中には富士山よりも高い山々があつて、殊に新高山は高さ三千九百五十メートル、我が國第一の高山である。

本島の北端には火山脈が通じてゐるので、火山や温泉がある。この火山脈は更に澎湖諸島に及んでゐる。



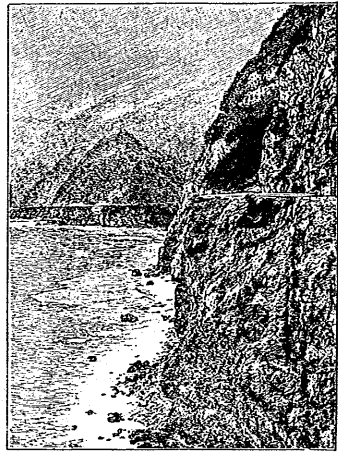
新高山

海岸

臺灣山脈の東の方は山地が絶壁をなして直ちに太平洋岸に面してゐる處が多く、平地に乏しいので、陸上交通はまだまだよく開けず、良港も少ないので、海上交通も不便で、随つて産業の發達もおくれてゐる。

臺灣山脈から西の方は地勢が次第に低くなつて、廣い平地となつてゐる。この平地は住民が最も多く、交通の便も大いに開け、産業がよく發達してゐる。

海岸線の出入が甚だ少く、自然の良港に乏しい。西海岸は概ね遠淺で、砂濱が多いから、港には淡水河の下流を利用



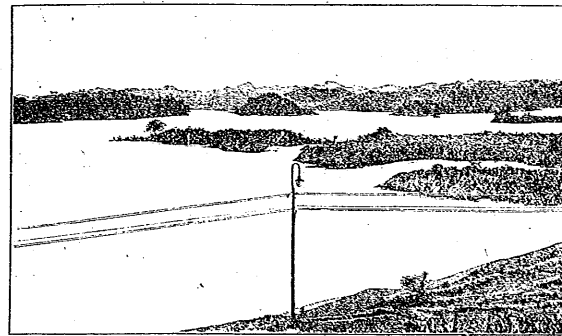
東海岸の断崖

川

した淡水と、海岸に港としての設備を施した高雄とがあるばかりである。

北部の東支那海沿岸にある基隆は、實に本島唯一の自然の良港で、港の設備もとのつてゐる。

主な川はいづれも臺灣山脈から發して西部の平地を流れるもので、淡水河、濁水溪、下淡水溪等、大きな川も少くないが、川水が季節によつて著しく増減するばかりでなく、一般に山地では急流をなし、平地では土砂の堆積が多くて、船の交通にはあ



池水貯用溉灌

まり利用されず、又しばしば洪水をおこす。しかしこれらの川からあまたの用水路が開かれて、灌漑には大いに利用されてゐる。

三 氣候産業

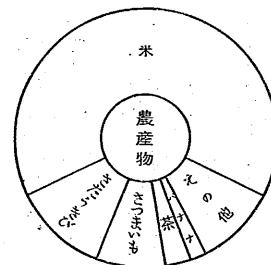
臺灣地方は我が國で最も南にある上に、近海に暖流があるので、年中暖かい。又雨量は一般に甚だ多い。かやうに氣温が高く雨量も多いから樹木がよく繁茂する。山地には大きなひのき、くすのきなど、平地には種々の熱帶性植物が森林をなしてゐる。又バナナ、パイ



ナ ナ バ

農業・牧
畜・工業・林業

アップルをはじめ種々の果物も多い。
臺灣は農業が甚だ盛で、気温が高いため、米とたうきびと



物産農な主の方地灣臺
(年九和昭)圓萬千六億二約額産總

つまいも・バナナ茶等の栽培に適し、その産額も多い。米やさ

たうきびの栽培のために大規模の貯水池や用水路が設けられてゐる。米は農産物中第一位を占め、西部の平地がその主産地で、年二回収穫され、内地に移出される額

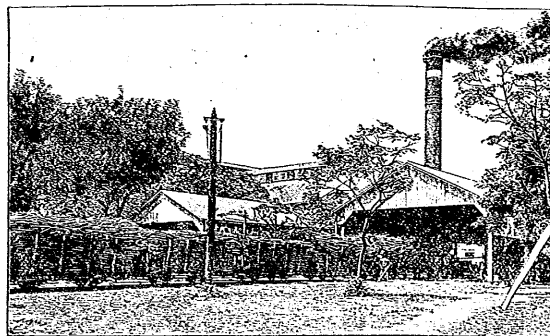


場工茶製



穫收のびきうたさ

も少くない。茶は北部の丘陵地に産し、臺北その他で精製され、その大部分は海外に輸出され、本島第一の輸出品となつてゐる。さたりきびは主に中部・南部の平地に栽培され、嘉義・臺中をはじめ各地に大きな製

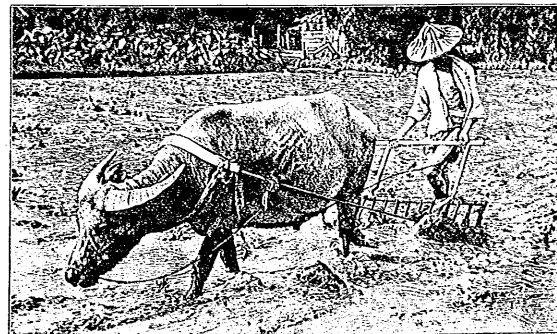


場工糖製

糖工場がある。砂糖は本島第一の工産物で、近年その産額が大いに増加し、多く内地に送られる。さつまいもは本島では年中到る處で栽培される。

家畜では豚と水牛が多い。豚はその頭数が内地の殆ど二倍に近い。水牛は廣く耕作に使用される外、運搬にも使用される。

臺灣山脈には阿里山その他に廣大な森林があつて、ひのきの良材が多く、盛にこれを伐出し、鐵道によつて各地に輸送する。随つて製材業も盛で嘉



水 牛



嘉義の製材所

義には大きな製材所がある。又くすのきからは、處々樟腦及び樟

腦油が製造される。

本島の樟腦は内地と共に世界的に著名なものである。

ある。竹材も亦重要な林産物となつてゐる。なほ本島ではアルコール



粗製樟腦工場

鑛業

ル罐詰帽子等の製造も盛である。

鑛産物の主なものは石炭・金・石油である。石炭と金は共に基隆附近が主産地である。石油は西部に産する。

水産業

まぐろ、かつを、たいひ等の漁獲高が多く、基隆と高雄とは漁業の中心地である。又魚類の養殖も盛である。西海岸では天日によつて塩を製してゐる。

四 交通

陸上の交通

この地方は我が國の領土となつて以來、道路も鐵道も大いに發達して來たが、西部の平地をのぞけば、なほ交通の不便な處が多い。

鐵道の幹線は基隆を起點として南方に通じ、臺北をはじめ、西部の平地の主な都邑を連ねて高雄に達するもので、

海上の交通

本島の縦貫線となつてゐる。なほこの平地には、この幹線から分れた多くの支線がある。又東部の太平洋沿岸地方にも南北に通ずる鐵道がある。

基隆と高雄は港としての設備がととのつてゐるので、船の出入に便利で、臺灣に於ける最も重要な港となつてゐる。内地との交通は基隆が最も盛で、東南アジア方面との交通は高雄が中心である。又支那との交通はこの二港をはじめ、他の諸港との間にも盛である。

航空

近時、臺北と内地とを連絡する航空路が開かれ、又本島内にも臺北を中心とする航空路がある。

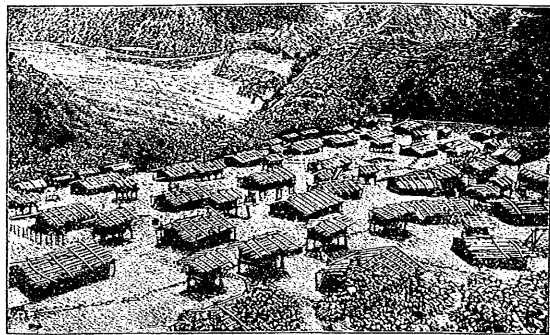
五 住民

臺灣地方の人口は約五百二十萬である。その大部分は支

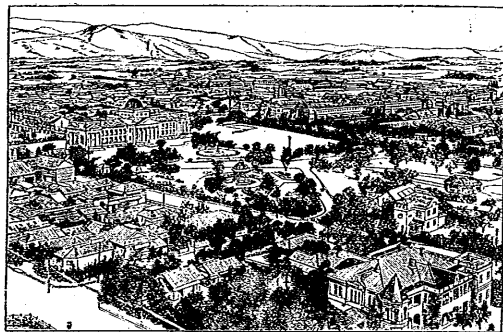
那民族で、大てい西部の平地に住まつて、農業・商業を営んでゐる。内地から移住してゐるものは未だ僅かに二十七八で、主に都市に居住してゐる。又土人の数は十餘萬で、多く山地に住まつてゐる。

六 都邑

西部の平地は産業や交通が發達してゐるから、本島の住民は大部分こゝに集まり、主な都邑もこの方面に多い。基隆は臺灣の門戸で、海陸交通の要地である。臺北は人口約三十萬、政治交通の中心地で、



土人の部落



商工業も盛である。市街がよく整頓されてゐて、内地人の居住するものも多い。臺北帝國大學もこゝにある。臺北から南の平地には新竹・臺中・嘉義・臺南・高雄等の都會があつて、いづれもその附近の商業の中心地となつてゐる。又高雄は海陸交通の要地である。高雄の東にある屏東は嘉義・臺中等と共に

製糖業が盛である。

東海岸には花蓮港がある。その附近には内地人の居住する者が多く、農業を営んでゐる。

七 澎湖諸島

澎湖諸島は臺灣海峡にある岩の多い低い島々であつて、その中で最も大きいのは澎湖島である。澎湖島は海岸線の出入が多く、海軍の要港の馬公がある。

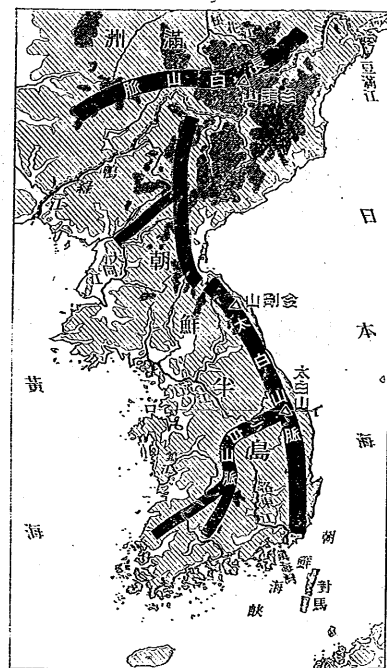
第四 朝鮮地方

一 區域

朝鮮半島とその近海の島々とを合はせて朝鮮地方といふ。この地方は行政上十三道に分たれ、これを總轄してゐる朝鮮總督府は京城にある。

二 地勢

朝鮮半島は日本海と黃海との間に北から南に向つてつ



朝鮮地方の地勢と圖面圖 (比例尺は十の二乗)

朝鮮地方の地勢と圖面圖

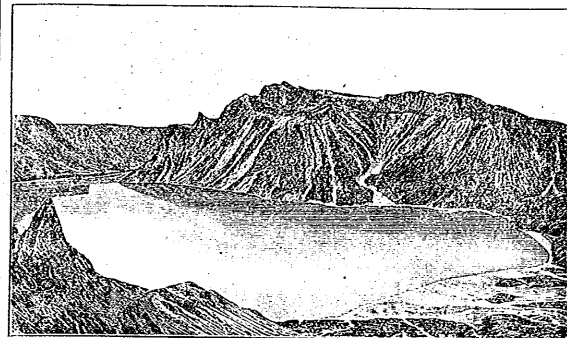
き出た
半島で
あつて
長さ約
一千キ
ロメー
トル、南

は朝鮮海峡を隔てて九州地方と相對し、北は滿洲及びシベリヤと地つゞきで、鴨綠江・豆滿江・白頭山等が境になつてゐる。

朝鮮半島は山地が多く、大體南から北に行くに隨つて、地勢が次第に高くなり、北部は廣い高原狀の山地となつて

山

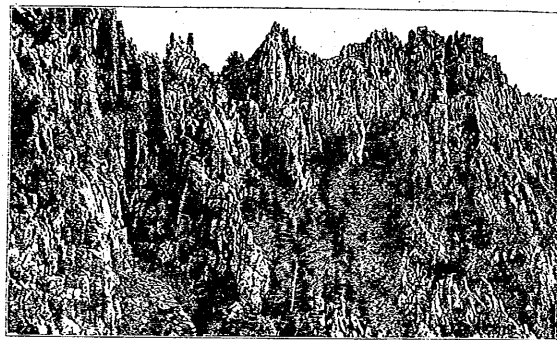
るて、國境の邊では長白山脈が東西に連なつてゐる。白頭山はこの山脈中にそびえてゐる火山である。南部には太



川・平地

白山頭山

白山脈が日本海の沿岸に沿つて南北に連なつてゐて、日本海方面と黃海方面との主な分水嶺となつてゐる。その北部の金剛山は景色が美しいので名高い。北部には鴨綠江と豆滿江とがある。この二川は共に白頭山から源を發し、一は西に、一は東に流れてゐる。鴨綠江は我が國第一の長流で、長さ約八百キロメートルであ



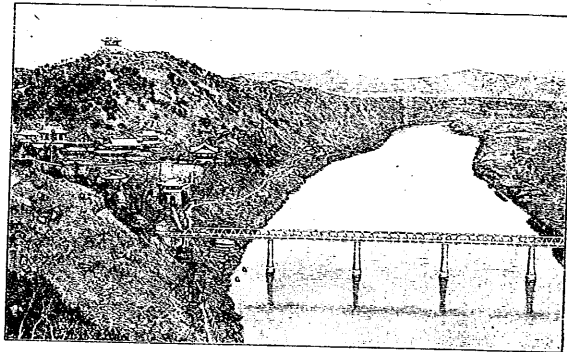
金剛山

る。中部南部では主な分水嶺が東にかたよつてゐるので、日本海方面は土地が狭く、傾斜が急で、大きな川もなく、平地も甚だ少いので、一般に産業も發達せず、陸上交通も不便である。これに反して黃海方面と朝鮮海峽方面とは傾斜もゆるやかで、大同江、漢江、錦江、洛東江等の大きな川がいくつもあり、これらの川は水運の便は少いけれども、その沿岸にある平地の灌漑に利用せられるので、農業が發達し、都邑も多く

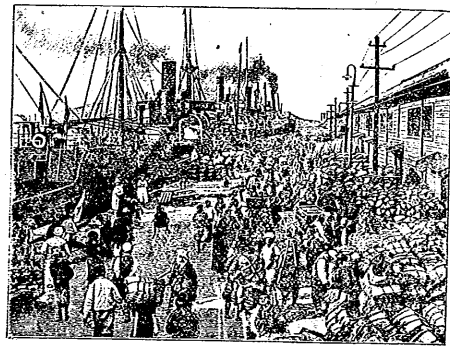
海岸

交通も便利である。

日本海沿岸は海岸線の出入が少く、島も殆どない。殊に南部は陸上の交通が開けず、良港にも乏しいから、産業も發達してゐない。しかし北部には元山、清津、羅津、雄基等の良港があり、又この方面の鐵道と滿洲の鐵道との連絡が開け、滿洲との關係が益々密接となつたので、産業も活氣を呈するやうになり、内地との船の交通も盛になつて來た。黃海方面と、朝鮮海峽方面とは、海岸線の出入が多い上に、



江同大と臺丹壯々橋平

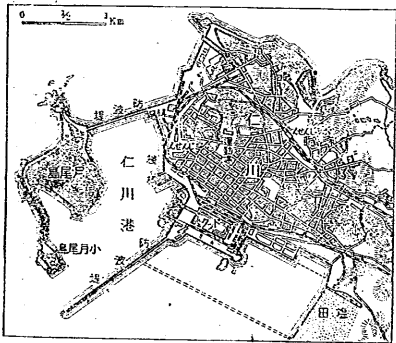


仁川港

附近に大小無數の島々が散在してゐて、良灣に富み、良港が多いので、交通も便利で、産業も盛である。釜山、木浦、群山、仁川等は重要な港である。又鎮海は海軍の要港である。

黃海方面は潮の干

満の差が大きく、殊に仁川港ではその差が九メートルもあるので、干潮の時には船の出入が極めて困難である。それ故特別の設備を



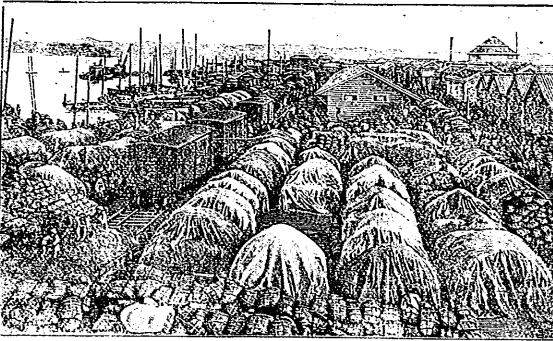
仁川港の略圖

施し、船の出入が自由に出来るやうにしてある。

三 氣候産業

南部の海岸地方は氣候が溫和であるが、北に行くに従つて寒暑の差が著しくなり、北部では冬の寒さが殊にはげしいので、川も氷結する。雨量は一般に少いが、北部は南部より一層少い。

朝鮮地方は雨量が少い上に、古來樹木を濫伐したので、山地の大部分には森林が少く、平地も灌漑の便に乏しかった。しかし夏は氣温が割合に高く、

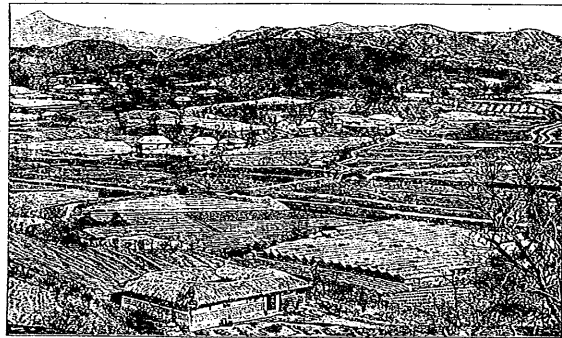


し出秋の米るけに港山群

産業
農業

氣候

地味も概ね肥沃であるから、農業は昔から朝鮮第一の産業であつた。近年、水源の涵養や灌漑の工事が進んで、耕地が著しく廣くなつたので、農産物の産額も大いに増加して來た。農産物の主なものは米、麥、大豆、粟である。米は西部・南部の平地に多く、麥と大豆は到る處に産する。米は釜山群、山仁川等から、大豆は主に仁川から、多く内地へ積出される。粟は北部に多く産し、朝鮮では米に次ぐ主要な食物である。又綿の栽培が近年盛になり、南部・中部で

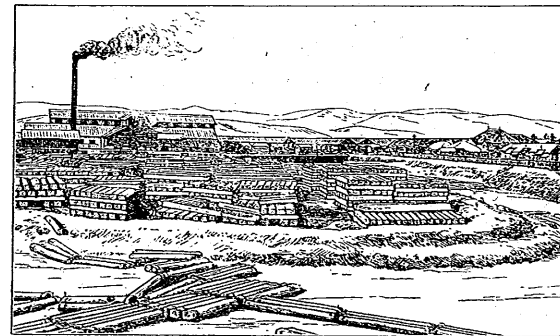


畑 麥 人

牧畜

は殊にその産額が多く、主として木浦から内地へ送られる。その他、煙草、りんごの産額も多い。開城附近は古來朝鮮人蔘の產地として知られてゐる。養蠶業も近年大いに發達し、處々に製絲工場が設けられるやうになつた。牛の飼育は廣く行はれ、その頭数はほゞ内地と等しく、内地へ送られるものも少くない。随つて牛皮の産額も多い。又豚の飼育も盛である。

鴨綠江、豆滿江の流域には大森林があつて、てうせんまつ、

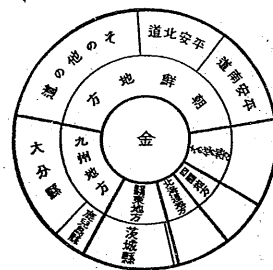


新義州の製材所

林業

からまつ、もみ等の良材が盛に伐出され、その一部は鴨綠江によつて新義州に集まり、一部は鐵道によつて日本海沿岸に運ばれる。新義州には大きな製材所がある。

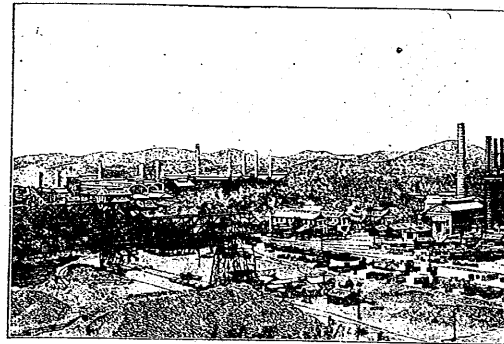
鑛業



我が國の金の産額
(昭和九年) 總産額約九千萬圓

鑛産物の主なものは金、鐵、石炭、ていづれも中部以北に多い。

金は平安南道及び平安北道を主産地とし、近來その産額が著しく増加して來た。鐵鑛は黃海道が主産地で、兼二浦でも製鍊されるが、



兼二浦製鐵所

工業

八幡の製鐵所に送られるものも多い。

石炭は平壤附近が主産地で、良質の無煙炭を出してゐる。

朝鮮の工業は從來は主として小規模の家内工業であつたが、近年内地人によつて各地に大規模の工業が勃興し、頓に活氣を呈し、工業は農業に次ぐ朝鮮の重要な産業となつて來た。北部の高原地方には處々に大きな水力發電所が設けられ、その電力によつて咸興の南東にある興南では人造肥料工業その他の

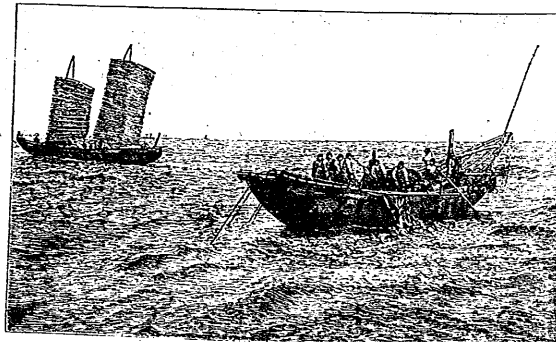


木浦の製綿工場

水産業

工業が盛に行はれてゐる。又紡織製鐵製陶製革食料品等の工業が各地で行はれてゐる。

近海は寒流・暖流が流れてゐて魚類に富んでゐる。その上沿岸には漁港に適する處が多いので、漁業は各地で行はれてゐる。又内地から朝鮮の沿海へ出漁するものも多い。日本海方面のめんたいと黄海方面のぐちとは殊に名高い。その他、いわし・さば・にしん等の漁獲も多い。随つて水産製造物の産額も少くない。



朝鮮の漁船

黃海の沿岸では天日による製塩が行はれてゐる。

四 交通

鐵道の幹線は釜山を起點として北に向ひ、京城を経て滿洲の安東に至るもので、釜山京城間を京釜本線といひ、京城安東間を京義本線といふ。京釜本線は釜山下關間に鐵道連絡船があつて、内地の鐵道と連絡してゐる。京義本線は鴨綠江の鐵橋を渡つて、安東で滿洲の鐵道と連絡し、更に滿洲の鐵道はシベリヤを經由する歐亞連絡の鐵道の幹線と連絡する外、北支那方面に至る鐵道とも連絡する。これらの幹線の外に重要な鐵道は京元咸鏡の二線、湖南本線等である。京元線は京城・元山間の鐵道で、咸鏡線は元山から咸興を経て、日本海沿岸を通り、羅南・清津方面に向

陸上の交
通

ふものである。咸鏡線は更に北の方、會寧を経て滿洲の鐵道と連絡してゐる。なほこの方面には、羅津から雄基を経て豆滿江に沿つて走り、滿洲の鐵道と連絡する線もある。湖南本線は京釜本線の大田から分れて、南の方、木浦に至る鐵道である。

海上の交
通

朝鮮の近海は春夏の季節には霧が深く、冬季には風波が荒いので、海上の交通は困難なこともある。しかし釜山・木浦・群山・仁川・鎮南浦・元山・清津・羅津・雄基等、船の出入に便利な港が各方面にあつて、それら航路の中心となつてゐる。中でも釜山は我が内地との交通貿易の要地であり、仁川は滿洲や支那との貿易の盛な港である。又清津・羅津・雄基は滿洲への門戸である。

航空

東京から大連・新京・天津・北京等に至る定期航空路はいづれも朝鮮を経由してゐる。

五 住民・都邑

朝鮮地方の人口は約二千三百萬、その大部分は朝鮮民族で、内地人は約六十萬に過ぎない。

住民の最も多く集つてゐる處は黃海方面の平地と朝鮮海峽方面の平地である。随つてこの兩方面の平地には都邑が多く、大きなものは大てい農産物の集散地となつてゐる。大邱・群山・平壤は米の主な集散地である。南部の日本海沿岸や、北部の高原地方は住民も少く、都邑も稀である。又朝鮮では各地に定期の市場が開かれ、農産物や日用品が取引される。中でも大邱の大市は最も有名である。京城

は漢江の下流沿岸の盆地にあつて、人口約七十萬、朝鮮第一の大都會で、政治・經濟・交通の中心地となつてゐる。京城帝國大學もこゝにある。仁川は京城の門戸で、黃海方面にある重要な港である。大同江沿岸の平壤は朝鮮北部の名高い都會で、鎮南浦はその門戸である。新義州は鴨綠江をはさんで、滿洲の安東と相對する國境の都會である。日本海方面では元山・咸興・羅南・清津・羅津・雄基が主な都邑である。豆滿江沿岸の會寧は國境の要地である。

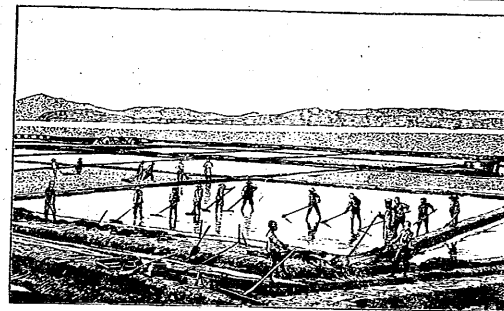


大邱の大市

區域・住

第五 關東州

地勢・氣候・産業



關東州の塩田

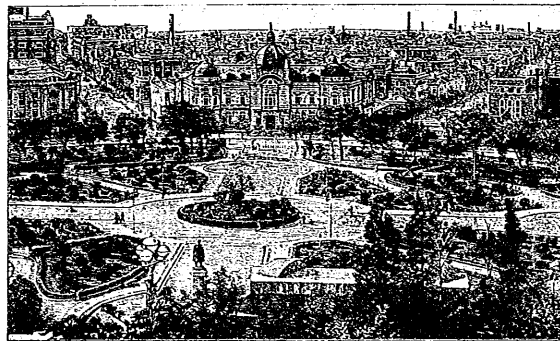
關東州は滿洲の遼東半島の南端部で、我が國が滿洲國から租借してゐる處である。面積約三千五百平方キロメートル、人口約百十萬、その中、内地人は約十六萬である。この地方を治める關東州廳は大連にある。

州内は到る處丘陵が起伏してゐて平地に乏しいが、海岸線は出入が多く、黃海の沿岸には大連・旅順の二港がある。氣候は大陸の影響をうけて

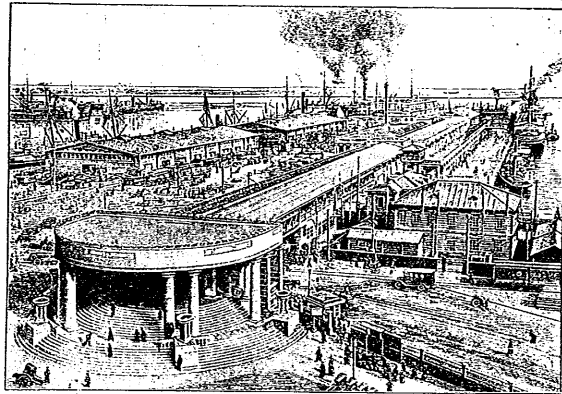
大連

寒暑の差が著しく、雨量は少い。しかし農業は盛に行はれたうもろこし、高粱、落花生等が出来る。近海では漁業が行はれ、又處々の砂濱では天日を利用して盛に塩を製してゐる。工業は近來盛になつて來た。

大連は關東州に於ける唯一の大きな都會で、人口約四十萬、州内政治の中心地であるばかりでなく、滿洲の門戸、世界交通の要地に當つてゐる。市街は建物が壯麗で、町並がよくと、のつてゐる。又港の設備が行届いてゐるので、船の出



大連市の街



大連の埠頭

入が便利で、我が内地、朝鮮、支那等の諸港との交通が繁く、東洋屈指の大きな商港となつてゐる。又この地を起點とする

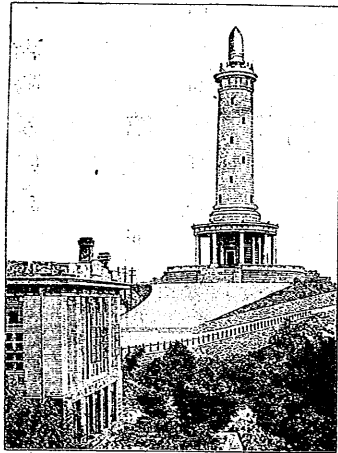


大豆粕の搬運

我が滿洲の鐵道は支那の鐵道及びシベリヤの鐵道と連絡して、世

界の鐵道の幹線の一部となつてゐる。かやうに水陸交通の要地に位してゐるから、貨物の集散が盛で、滿洲の重要輸出品たる大豆、豆粕、石炭等は多くこゝから我が内地へ積出され、滿洲の重要輸入品たる機械、織物、麥粉等は我が内地から多くこの地を経て、滿洲の各地へ送られるのである。工業も近來甚だ盛である。

旅順



旅順の表忠塔

旅順は商港としては大連に及ばないが、港口が狭く、後は山に圍まれた自然の要害で、我が海軍の要港となつてゐる。附近には明治二十七八年、同三十七八年

の兩戰役に關する名高い戰跡が多い。

第六 我が南洋群島

我が南洋群島は、赤道から北の舊ドイツ領の全部即ちカロリン群島、マーシャル群島の全部とマリヤナ群島の大部分とで、世界大戰の結果、我が國が統治するやうになつた處である。島の數は二千五百もあつて、廣い區域に亘つて散在してゐるが、その總面積は約二千平方キロメートル、人口は約十萬に過ぎない。我が内地人は約五萬である。この群島を治める南洋廳はコロール島にある。

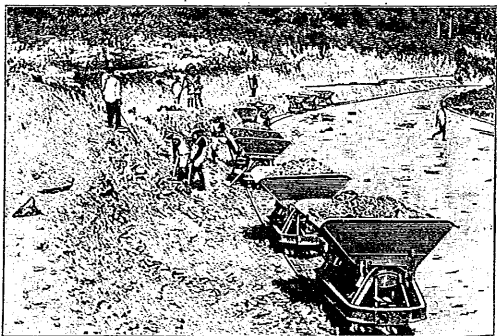
この群島は全部熱帯にあるので、四季の別がなく、氣温は年中高い。しかし、常に風が吹き、降雨が多いので、割合に凌

區域

氣候・産業



土地が狭く且平地が少いので、從來産業は發達してゐない。



掘採の礦磷

かつたが、我が國が統治するやうになつてから、各種の産業が年々發達して來た。中でもさとうきびの栽培は近年著しく盛になり、製糖業はこの群島第一の産業となつて

ある。その他の主な産物はコブラと燐礦とで、砂糖と共に多く内地へ送られる。水産業も近年大いに勃興し、かつをぶしが多く内地へ送られる。又主な島々と内地との間には定期航路が開かれてゐる。

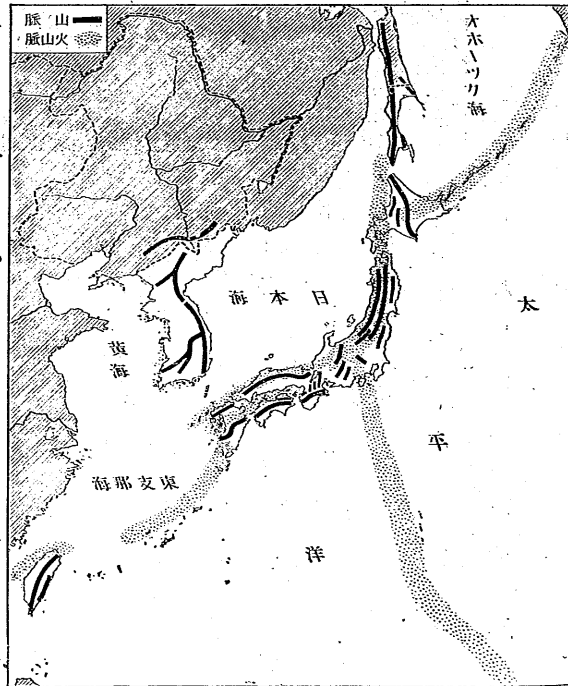
第七 日本 の 總説

日本列島は山岳丘陵が到る處に起伏し、殊に本州の中央部は地勢が極めてけはしく、三千メートル以上の高山も少くない。主な山脈は中央部から南西又は北東に向つて列島を縦に通じ、相連なつていくつもの山系をなし、その中の主なものが列島の大分水嶺となつてゐる。南西に向ふ主な山脈は二つの山系に總括される。その一

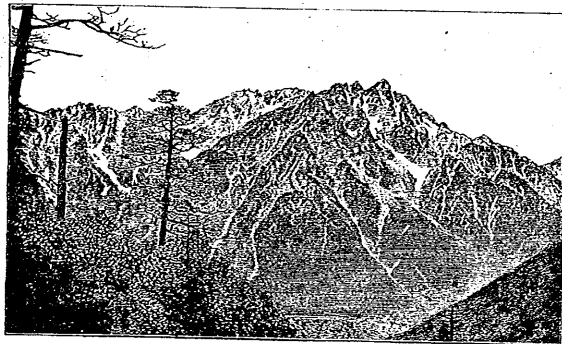
山

つは飛驒山脈・中國山脈・筑紫山脈を連ねたもので、他の一つは赤石山脈・紀伊山脈・四國山脈・九州山脈・琉球列島の山脈、臺灣山脈を連ねたものである。

北東に向ふ主な山脈は三國山脈・奥羽山脈・蝦夷山脈・樺太



日本 の 山 系 の 略 圖



穂高岳

山脈等で、これらも又一つの山系をつくつてゐる。外になほ千島列島を走るものもある。

日本列島のこれらの山系は大體三つの大きな弓形をつくつてゐるので、列島の形も、これに伴なつて自然に三つの弓形をなし、中央部の弓形には北海道本島本州、四國九州があり、北東部の弓形には千島列島、南西部の弓形には薩南諸島・琉球列島・臺灣がある。これらの三つの弓形と樺太朝鮮半島とによつて、日本海・オホーツク海・東支那海が區劃

されてゐる。

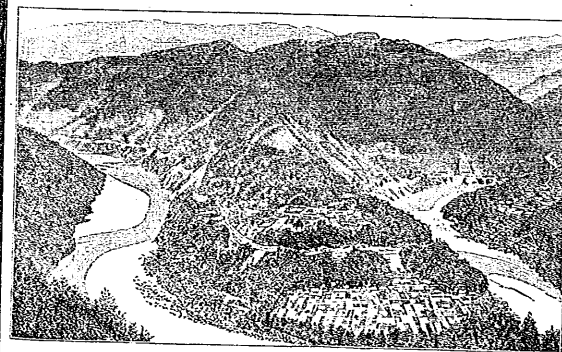
火山脈は多くは上に述べた山系に沿うて列島を縦に走り、北東部には那須火山脈、千島火山脈があり、南西部には白山火山脈、阿蘇火山脈、霧島火山脈がある。たゞ富士火山脈は本州の中央部を横ぎり、更に延びて太平洋中で伊豆七島・小笠原群島となり、更にマリヤナ群島につゞいてゐる。これらの火山脈中には富士山をはじめ圓錐形の火山が多く、たえず煙を噴いてゐるものも少くない。かやうに到る處に秀麗



洞爺湖から羊蹄山を望む

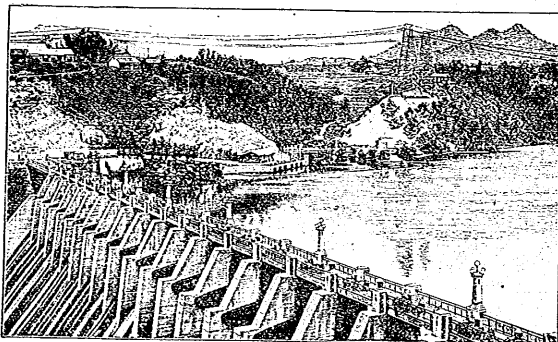
な火山があり、附近には概ね湖沼があつて、景色が美しいばかりでなく、又處々に温泉も湧出てゐるので、保養遊覽に適する處が多い。日本列島は土地の成立が複雑であるから、火山が多いばかりでなく、地震も多くて、世界の主な火山地帯地震地帯となつてゐる。

朝鮮半島には北の滿洲との國境に沿うて長白山脈があり、その南は廣い高原狀の山地につき、更にその南には日本海沿岸に太白山脈がある。

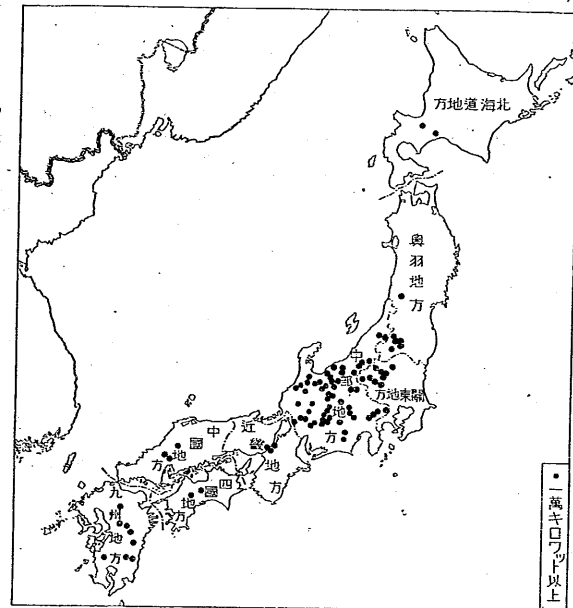


天龍川

日本列島の中央部から北では、列島を縦に通つてゐる山系が大分水嶺となつてゐるから、川は太平洋方面のものと、日本海方面又はオホーツク海方面のものとに分れてゐる。又中央部から南では、二條の主な山系が大分水嶺となつてゐるので、川は太平洋方面のものと、日本海方面東支那海方面のものとに分れてゐる外、なほ瀬戸内海方面のものもある。



木曾川にあゝるム



布分の所電發力水な主るけ於に地内

多いから、大てい流が早く、流路の屈曲も多いので、水運の便が少く、雨後はしばしばあふれて害をなすこともある。しかし水量の多いことは灌漑には便利であつて、農業の發達を助けることが多く、殊に米作の發達を促してゐる。又流の早いことと水量の多いこととは發電に便

平野

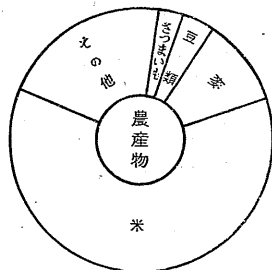
利であるから、近年水力電氣の事業が大いに發達し、その電氣は電燈や動力などに廣く利用されてゐる。朝鮮半島の川は黃海・日本海・朝鮮海峡の三方面のものに分れてゐる。黃海方面の川は流がゆるやかで、水運灌漑の便が多い。

川の沿岸の平地は産業交通に利用され、殊に大きな川の下流や川口附近の海岸には割合に廣い平地がある。その主なものは關東平野、越後平野、濃尾平野、近畿地方の諸平野、九州北部の諸平野、石狩平野及び臺灣・朝鮮の西部の諸平野である。中でも關東平野、濃尾平野、大阪平野、九州北部の諸平野はそれ〴〵商業工業の大中心地となり、交通も便利で、都邑も發達してゐる。東京・大阪をはじめ我が國の

氣候

大都會は多くはこれらの平野にある。日本列島は大部分が温帯にある上海に圍まれてゐるのて、一般に温和な海洋性氣候である。しかし南北に長く延びてゐるので、南部には暑さのきびしい地方があり、北部には寒さのきびしい地方がある。その上、地勢、海流、季節風等の影響が、地方によつて大いに異なるので、氣候は甚だ複雑である。雨量は一般にゆたかで、殊に太平洋沿岸は夏に雨が多く、日本海沿岸は冬に雨雪が多い。朝鮮半島では南部は温和な氣候であるが、北に行くに隨つて大陸の影響のために、寒暑の差が甚しくなる。朝鮮半島は北海道地方や樺太地方と共に我が國では雨量の少い地方である。

農業



我が國の主要農産物の總額
昭和十三年の概算
（年）

我が國の耕地は總面積の約六分の一に過ぎないが、氣候、地味共に農業に適してゐるので、農業は古來我が國の重要な産業で、國民の約半數はこれに従事してゐる。農産物の産額も又その種類も甚だ多い。

農産物の主なものは米、麦、豆等の穀類やさつまいも、じゃがいも、蔬菜等の外、さとうきび、茶、煙草等で、又果物の産額も多い。これらの農産物は大部分は食用に供せられ、一部分は工業品の原料に用ひられてゐる。中でも米は我が國民の主食物であるから、殆ど全國到處に栽培され、國內の需要を充たしてゐる。しかし内地で

は不足するので、朝鮮や臺灣から移入してこれを補つてゐる。

農産物は大部分國內で消費される。たゞ茶、薄荷、除蟲菊、果物等が少しく輸出されるのみである。農産物の中には外國から多量の輸入を仰がなければならぬものもある。我が國の工業上最も必要な原料である綿は殆ど全部をアメリカ合衆國、印度等から輸入するが、小麥や大豆の輸入も亦多い。

我が國は人口が年々増加するので、食料の需要は益々多くなつて行くのみならず、工業の發達に伴ひ、原料の需要も増加する。然るに耕地の擴張はこれに伴はないから、農産物の輸入は今後益々増加するであらう。

養蠶業

又我が國の農業は狭い耕地で比較的多量の收穫を得なければならぬので、勢ひ多量の肥料を要するから、人造肥料、魚肥、油粕等の製造が近年著しく盛になつてゐる。しかしなほ不足を告げるので、滿洲から豆粕、ドイツから人造肥料が盛に輸入されてゐる。

我が國は世界第一の養蠶國で、繭の産額が多く、随つて生絲、絹織物の製造高も多い。養蠶業は中部地方から關東地方にかけて最も盛で、製絲業、絹織物業も亦これらの地方に發達してゐる。生糸は綿織物に次いで、我が國第二の輸出品で、主としてアメリカ合衆國へ送られる。絹織物も亦重要な輸出品となつてゐる。

我が國は氣候、地味、地勢の關係上、牧畜はあまり振はない。

牧畜

林業

殊に羊の牧畜が進まないから、近年著しく需要を増して來た羊毛は殆ど全部外國から輸入してゐる。牛馬豚は各地で飼養されるが、その頭數はまだあまり多くない。然るに我が國の畜產品の需要は近年大いに増加してゐるので、牛皮・牛肉等の輸入が少くない。

我が國は山地が多く、氣候が植物の生育に適するので、森林はよく繁茂し、その面積は我が國總面積の約二分の一に當つてゐて、各地で木材が伐出されてゐる。木材の主なものは木曾谷・阿里山のひのき、米代川・紀川各流域の杉、鴨綠江流域のてうせんまつ・からまつもみ、北海道本島・樺太のといまつ・えぞまつである。

製材業も處々に發達し、秋田縣の能代港、臺灣の嘉義、朝鮮

の新義州には大きな製材所がある。

木材は産額が多いのにもかゝらず、需要が年々増加するので、内地の需要を充たすに足らず、アメリカ合衆國・カナダ等から輸入を仰いでゐる。

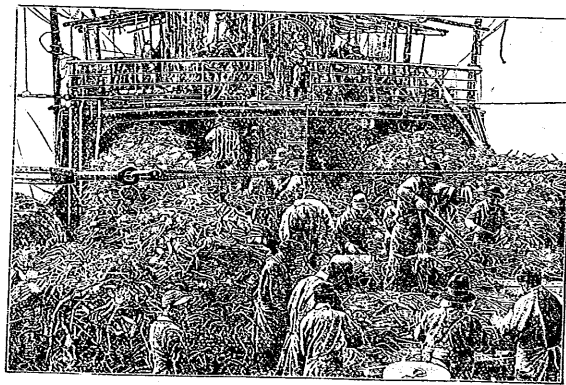
又製紙原料としての木材は北海道本島や樺太に多く産するが、我が國のパルプ及び洋紙の製造は大いに發達して、今では世界有數の洋紙製産國となり、國內のパルプの生産だけでは不足するので、アメリカ合衆國・ノルウェー等から輸入するパルプも少くない。なほパルプは最近我が國で急速の發達をした人造絹絲工業の原料としても極めて重要である。

我が國の近海には暖流や寒流があつて、それ〴〵特有な

水産業

魚類が多く、随つて我が國は古來水産業が盛で、今では世界第一の水産國となつてゐる。近年漁港の設備をはじめ、漁船漁具等が改良せられると共に、漁場が大いに廣まり、一方ではオホーツク海やベーリング海方面へ、他方では遠く太平洋の沖合や印度洋の方面にまで出漁するものもある。又近時南極海方面の捕鯨業に従事するものもある。

漁獲物中、いわしは全国各地の近海でとれるが、かつをまぐろ



業作の内船工にか

たひは暖流の流れてゐる太平洋方面や東支那海方面で多くとれ、にしんかには寒流の流れてゐる樺太北海道の近海で多くとれる。

又魚類や貝類の養殖も益盛になつてゐる。

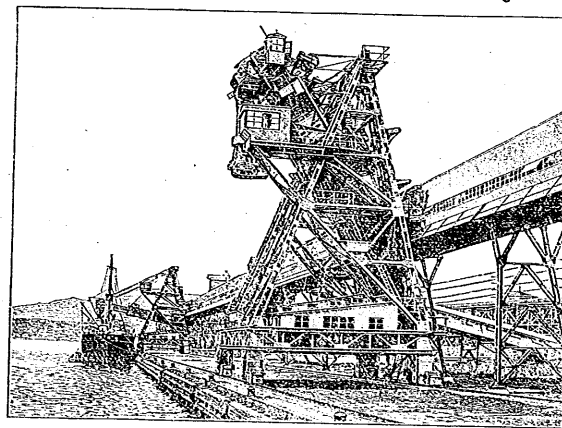
水産製造物の重なるものはかつをぶししめ粕塩漬罐詰である。水産製造物中、輸出品として最も重要なものはかにの罐詰である。

製塩業は瀬戸内海の沿岸に發達してゐる。この外、朝鮮臺灣でも製せられるが、近年工業用原料として、その需要が増加してゐるので、關東州支那アフリカ等から輸入されるものも少くない。

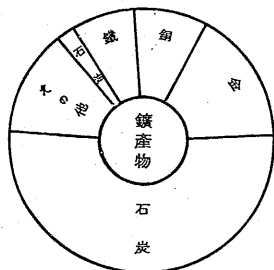
鑛産物の中、最も重要なものは石炭と鐵である。石炭は九

州北部が主産地で、我が國の總産額の過半を出してゐる。これに次ぐのは北海道である。石炭は我が國第一の鑛産物であるにもかゝらず、工業の著しい發展に伴つてその需要が増加し、最近國內の生産額だけでは不足を告げるので、滿洲その他から輸入される額も少くない。

我が國には鐵鑛は少いが、支那その他から鐵鑛を輸入して盛に製鍊してゐるので、鐵は石炭に次ぐ重要な鑛産物



し出積の炭石るけ於に蘭壘



我が國の約五割は鐵鑛、銅、石油、石炭、その他、總計三億九千萬圓

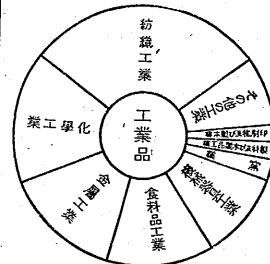
となつてゐる。しかし鐵の需要は益々増加するので、アメリカ合衆國、ドイツ、滿洲等から鐵や鐵材を輸入して、その不足を補つてゐる。

その他、主な鑛産物には銅、金、石油等がある。銅は別子、足尾、小坂、佐賀關、日立等の諸鑛山で製鍊される額が多い。しかしなほ不足するので、アメリカ合衆國から輸入される額も少くない。金は内地及び朝鮮の處處に産し、その産額は最近著しく増加してゐる。佐賀關、日立、鯛生等はその製鍊高が多い。石油の原油は主として新潟、秋田の二縣で産するが、近來石油の用途が廣まり、その需要が年々増加するばかりで、到底國産のものだけでは

工業

足りないから、アメリカ合衆國やマレー諸島から多量の輸入を仰いで、需要を充たしてゐる。

我が國は國土が狭く、天然の資源もゆたかでない。しかし人口が稠密で、勞力が得易く、國民は工業の技術に長じてゐる上に、石炭や水力の利用には便利であるから、工業は近年長足の進歩をなし、各地に諸種の大工場が出来て、主として機械力によつて、内國產の原料ばかりでなく、外國

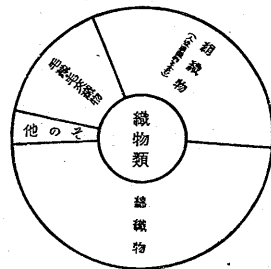


我が國の工業品
總產額約百億圓
(昭和九年)

產の原料をも使用して、多量の工業品を製造してゐる。そのため今では工業は我が國第一の産業となつてゐるばかりでなく、我が國は世界屈指の工業國となつてゐる。大阪灣の

沿岸、東京及び横濱の附近、九州の北部、名古屋附近はいづれも我が國の主な工業地帯となつてゐる。

我が國の工業の中最も重要なものは纖維工業である。纖維工業品の主なものは、外國から輸入した綿で製造する綿絲綿織物と、純國產の生絲絹織物であつて、その產額はそれぞれ他の工業品の產額を凌いでゐるばかりでなく、我が國



各種織物類の產額
總額約七十億圓
(昭和九年)

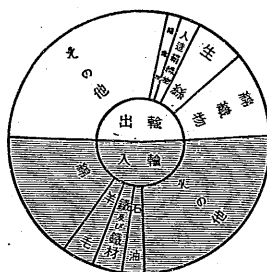
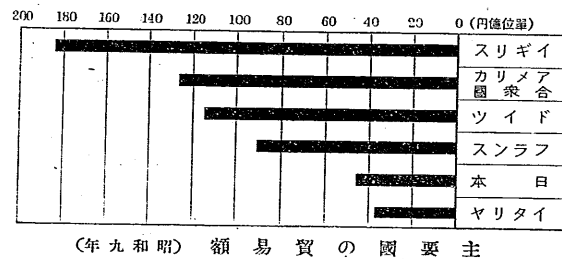
の貿易の盛衰と密接な關係を有してゐる。人造絹絲工業の發達は最近特に著しく、人造絹絲人造絹織物が多く製造せられるばかりでなく、人造絹絲は盛に綿織物や絹織物に交織せられてゐる。又輸入羊毛を原料とする毛絲毛

貿易

織物の製造も大いに發達し、今では毛織物の輸入は極めて少くなつた。その他、金屬工業、機械工業、化學工業、食料品工業等各種の工業が盛で、それぐその産額も製品の種類も多い。

これらの工業品は國內の需要を充たすのみならず、外國へ輸出するものも極めて多い。

産業が發達し、交通が進歩すると共に貿易も盛になり、年貿易額は約四十七億圓である。随つて我が國は今では世界の主な貿易國の一となつてゐる。しかし世界で最も貿易の盛なイギリスやアメリカ



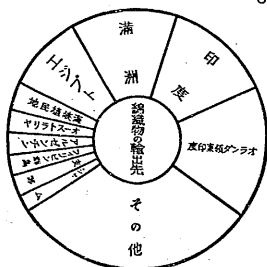
我が國の主な貿易品
總貿易額約三十二億圓
輸入約七十四億圓
輸出約四十二億圓
(昭和九年)

合衆國などに比べると、その額が遙かに少い。

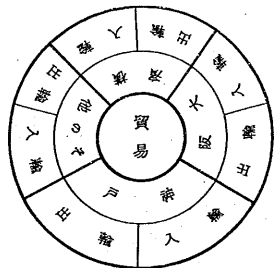
我が國の主な輸出品は工業製品が多く、主な輸入品は原料品が多い。

輸出品では綿織物が第一で、マレー諸島、印度、滿洲をはじめ、殆ど全世界各地にその販路を廣めてゐる。これに次ぐのは生絲、人造絹織物、絹織物である。

輸入品では綿が第一で、主としてアメリカ合衆國及び印度から輸入される。これに次ぐのは羊毛、鐵及び鐵材である。我が國の貿易は主として

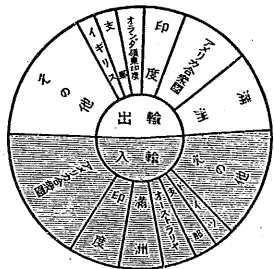


綿織物の輸先
總輸出額約五億圓
(昭和九年)



主 要 港 口 の 貿 易 額
(昭和九年)

神戶横濱大阪
の三港で行は
れる。又主な取
引先はアメリカ
合衆國滿洲・



主 要 取 引 先
(昭和九年)

印度をはじめ、マレー諸島オーストラリア支那イギリス・ドイツである。

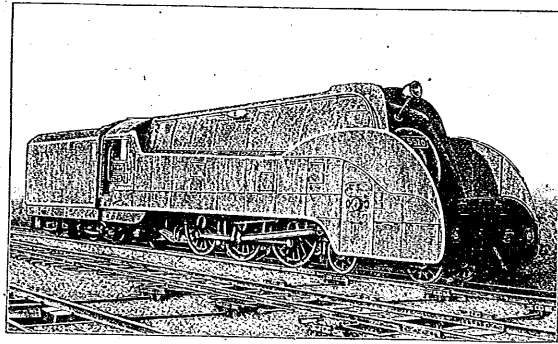
産業の發達に伴なつて、道路や鐵道も著しく延長して、國內の陸上交通が便利となつた。殊に近年各地で道路の改修が盛に行はれて、自動車の利用が廣く行きわたつて來たし、大都市の附近では電車の便もよい。陸上交通の發達と相俟つて、海上の交通も大いに開け、内

交通

鐵道

國航路は勿論外國航路も益頻繁となつて行く。又航空事業は最近著しく發達した。

鐵道の延長は約三萬二千キロメートルで、その約三分の二は國有鐵道である。幹線は東京を中心とし、北は奥羽地方北海道本島を経て樺太に至り、南は中部近畿中國の諸地方を経て九州の鹿兒島及び長崎に至つてゐる。又朝鮮を縦に走つてゐる幹線があつて、滿洲の鐵道と連絡してゐる。これらの幹線を連絡するために海上には鐵道連絡船が

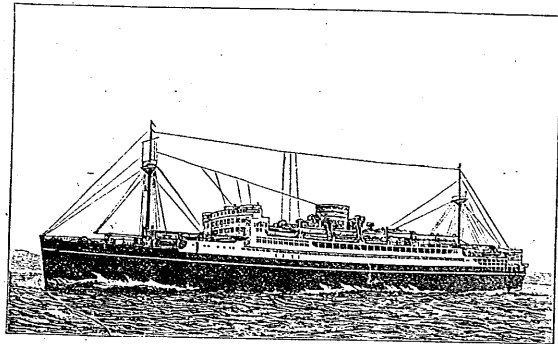


最新式蒸氣機關車

往來してゐる。殊に鐵道が最もよく發達してゐるのは關東平野濃尾平野、近畿地方の諸平野、九州北部の諸平野である。

航路

航路は神戸・横濱・大阪を主な起點として内外各地の諸港に通じ、内外の汽船が盛に往來してゐる。航路の發達、造船業の進歩と共に船の隻數も噸數も著しく増加し、我が國は今ではイギリス・アメリカ合衆國に次いで、世界第三位の海運國となつてゐる。汽船の總噸數は約四百萬噸で、中には一萬噸

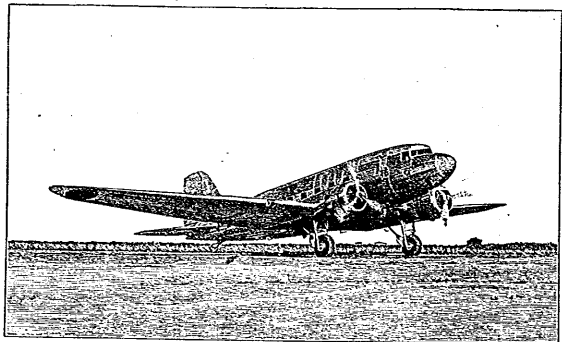


我が國の主要航路の大きな汽船

航空路

以上のものも少くない。かゝる大きな汽船は大てい外國航路に使用されてゐる。海運業の發達に伴なつて我が主な港には必要な設備がととのへられ、又航海上の要處には燈臺が設けられてゐる。

航空路の主なもの、は東京を起點とし、西に向ふものには、名古屋・大阪を経て福岡に至り、更に蔚山・京城・新義州等を経て大連に達し、大連では滿洲及び支那の航空路と連絡し、奉天・新京・天津・北京に通ずるものがある。又福岡からは那覇

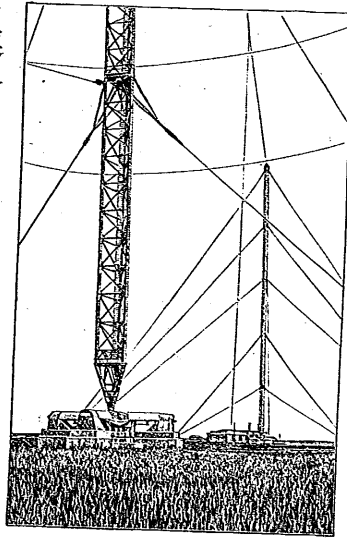


旅客飛行機

通信

を経て臺北に至るものの外、上海・南京に至るもの、天津・北京に至るものもある。東京から北に向ふものには仙臺・青森を経て札幌に至るものがある。

郵便・電信・電話は國內到る處に通じてゐて、通信の便は殆ど完備してゐる。又諸外國との通信は益、便利となり、海底電線・無線電信によつて世界の各地と連絡してゐる。ラヂオの利用も益、普及して來た。



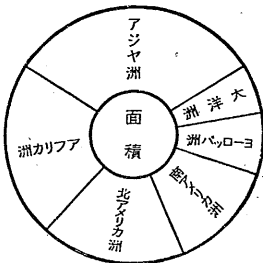
所送放オヂラ

第八 アジヤ洲(亞細亞洲)

一 總論

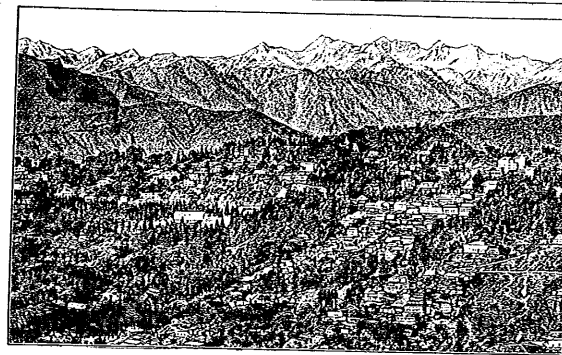
世界の陸地はこれを六大洲に分つ。アジヤ洲はその中で最も大きく、その面積は世界の陸地の約三分の一で、その住民の總數は約十二億で、世界の人口の半分以上を占めてゐる。世界の中で最も早く開けた支那や印度もこの洲の中にある。けれども今ではこの洲の大部分はヨーロッパ諸國の領地で、獨立國は極めて少く、僅かに我が國・滿洲・支那・シム等のみである。

中央部は土地が極めて高く、パミル高原を起點として、ヒマラヤ山脈を



比較の積面の洲大六

山地と産業



ヒマラヤ山脈

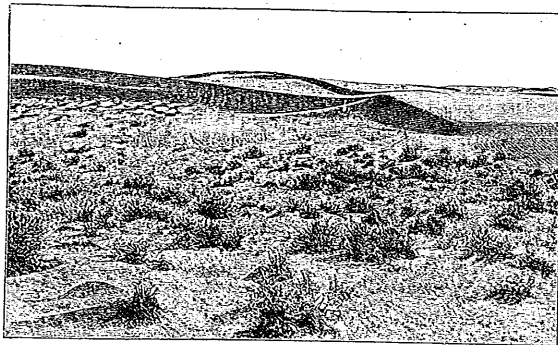
はじめいくつもの大山脈が諸方に走つて本洲の主な分水嶺になつてゐる。中でもヒマラヤ山脈は雄大無比の大山脈で、主峯のエベレスト山をはじめ八千メートル以上の高い山々がたくさん立連なり、四時氷雪をいたゞいて大空高くそびえてゐる。

これらの諸山脈の間には西藏蒙古等の廣大な高原がある。又パミール高原の南西にはイランの高原があり、更にその南西にはアラビヤの高原がある。これらの高原は雨量が極めて

低地と産業

少いので、川といふ川もなく、草原や沙漠がはるぐと連なつてゐて、寒暑の差も甚しい。随つて住民は極めて少く、大てい遊牧の民である。

中央部の高地と海岸との間には、諸方面に低い大平地がある。その中、北のシベリヤの平地と西の中アジヤの平地とは、相連なつて世界最大の平地となつてゐる。シベリヤの平地は、大部分は寒氣が極めてはげしいので産業が盛でなく、随つて住民も少い。たゞオビ川、エニセー川等の上流地方には農



中央アジヤの草原

業牧畜が發達してゐる。中アジヤの平地は雨が少いので草原が多い。それ故一般に牧畜が主な産業となつてゐるが、たゞ裏海及びその他の湖の沿岸や、これらの湖に流れ込む諸川の沿岸には農業が行はれてゐる。

裏海は世界中で最も大きな湖で、その水面は海洋の水面よりも低い。

太平洋方面には支那平野があり、印度洋方面には印度平野がある。支那平野は揚子江、黄河等に灌漑され、印度平野はガンジス川、インダス川等に灌漑されてゐる。



橋 鐵 の 河 黄

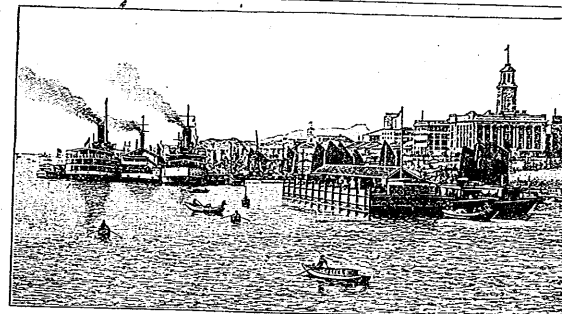
交通

この兩平野は共に地味が肥えてゐて、古來農業が大いに發達し、人口が甚だ密である。アジヤ洲の住民の半分はこの兩平野に住んでゐる。

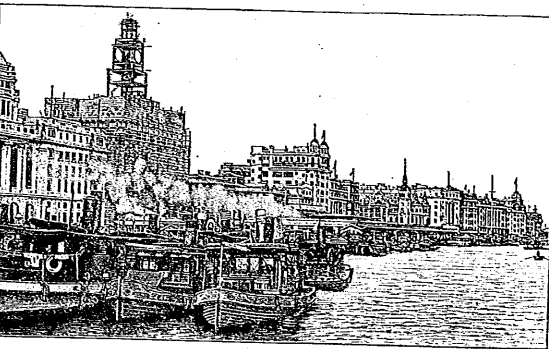
この兩平野に次いで開けてゐる處は太平洋及び印度洋に流れ入る諸川の沿岸の平地や、本洲南東部のマレー諸島である。

鐵道の發達はヨーロッパや北アメリカ洲に比べると遙かに遅れてゐる。たゞ印度、シベリヤにはアジヤ洲とヨーロッパ洲とを連絡する鐵道の幹線がある。

揚子江、ガンジス川は水量がゆたかで、流がゆるやかであるから水運の便が多い。殊に揚子江は川口から二千五百



江子揚と口漢



港海上海

キロメートルの上流まで汽船を通ずることが出来る。太平洋及び印度洋は世界海上交通の要路で、且又日本支那印度等産業の盛な處がこの方面にあるから、船の交通が盛で、沿岸には港が多い。これらの港からはいづれもヨ

面積・人口

二 満洲

ロバ洲・南北アメリカ洲・大洋洲等各洲の諸港に航路が相通じてゐて、我が國及び歐米諸國の船がたえずその間を往來してゐる。神戸・横濱・大阪・大連・支那の上海、イギリス領の香港・シンガポール・コロンボ等は、アジャ洲に於ける海上交通及び貿易の中心地である。北極海は大部分が年中結氷してゐるから、まだ船の交通には殆ど利用されてゐない。

満洲は國號を滿洲帝國と稱し、朝鮮の北西に連なつてゐる我が國の隣接國で、昭和七年新に興つた國である。面積は約百三十萬平方キロメートルもあるが、人口は約三千五百萬に過ぎない。國內は十六省に分れてゐる。

地勢

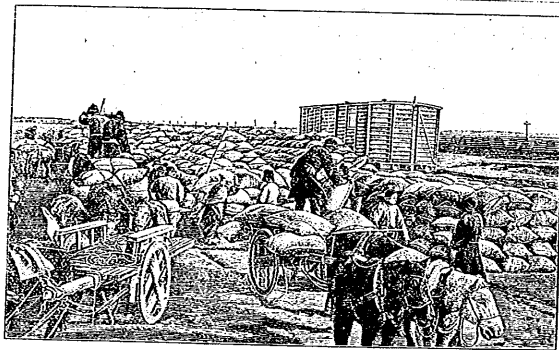
満洲は中央に廣い平地があつて、東の部分と西の部分とは大てい山地である。松花江はこの平地の北部である。北満洲を灌漑して黒龍江に合し、遼河はこの平地の南部である。南満洲を灌漑して渤海灣にはいる。この二川の流域には沃野が廣く連なつてゐて農業が盛である。

氣候・産業

氣候は大陸的で、冬は非常に寒くて乾燥してゐるが、夏は可成り暑くて雨が多いので農業に適してゐる。農業は主要な産業で、農産物中重要なもの



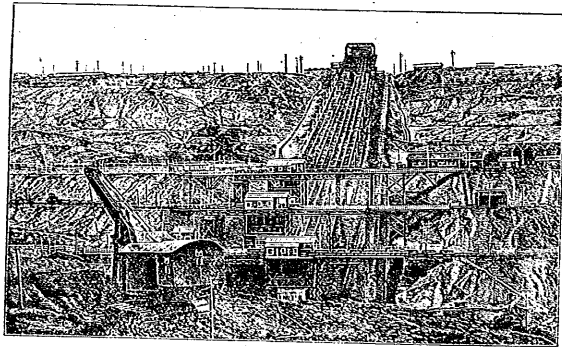
高粱畑



大豆の野積み

は大豆・小麥・高粱である。その中大豆は世界的のもので、主産地は北満洲であるが、南満洲でも多量に産する。大豆はそのまゝで多量に輸出されるばかりでなく、豆粕・豆油としても多量に輸出される。豆粕・豆油は主として大連營口で製造されてゐる。小麥は北満洲が主産地で、ハルビンには製粉業の中心地である。高粱は主として南満洲に産し、満洲人の常食に用ひられてゐる。又牧畜は一般に盛で、豚・羊・馬等が多い。満洲の南部には鑛産地が多い。中

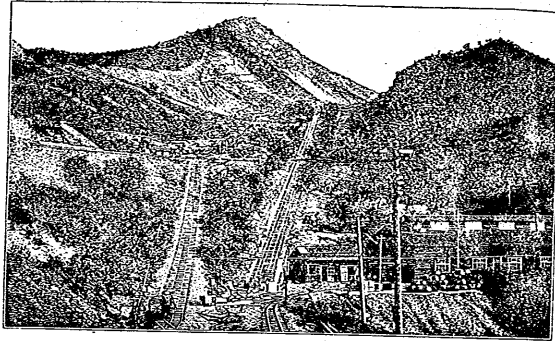
でも奉天の東にある撫順炭坑は東洋屈指の大炭坑で、我が南滿洲鐵道會社に屬してゐる。こゝで採掘された石炭は大連から外國にも積出される。なほ奉天の南西にある鞍山にも大きな鑛山と大規模な製鐵所とがあり、奉天の南東にある本溪湖にも炭坑と製鐵所がある。これらは皆我が國人の關係してゐるものである。



撫順炭坑の露天掘

滿洲の北部には大森林があるが、まだよく開發されてゐない。東部から南東部にかけても處々に大森林があつて

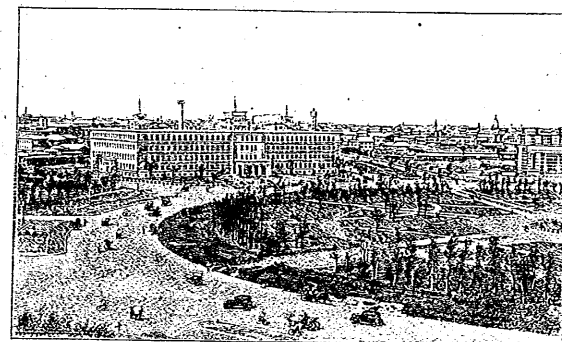
交通・都
呂



日滿兩國人協同の製材業が盛である。鴨綠江流域では安東、松花江流域では吉林が、その中心地である。

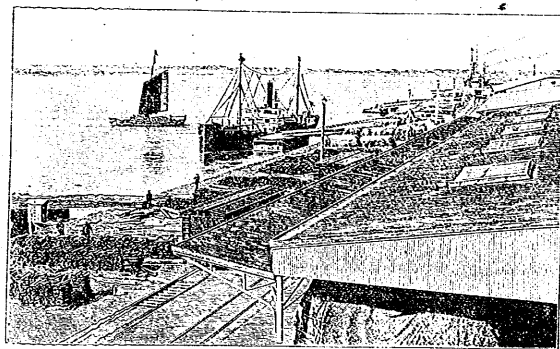
鞍山の各地では天日を利用する製塩業が行はれ、又近海ではたいてい山等がとれる。

我が南滿洲鐵道の連京線は大連を起點として北に向ひ奉天に於て安奉線及び奉山線と會し、更に北に向ひ新京に達してゐる。又新京からハルビンに至る線を京濱線、ハルビンからウラヂボストク方面に向ふ線



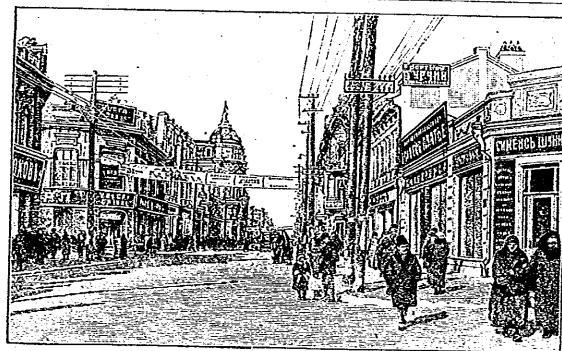
新 京

を濱綏線滿洲里に向ふ線を濱洲
線といつてゐる。新京から吉林を
經て朝鮮
との國境
方面に向
ふ線を京
圖線とい
ふ。奉山線
は奉天か
ら山海關



營 口 港

に至る線である。
遼河・松花江・黑龍江はいづれも流



がゆるやかで、水運の便が多い。その沿岸には處々に港が
あり、殊に遼河の川口の營口は河海兩交通の連絡地であ
る。これらの川は冬期結氷するの
で、船の往來は全く出來なくなる
が、車馬がこれに代つて氷の上を
盛に往來する。

鐵道の幹線及び支線の附近には
都邑が多い。殊に南滿洲鐵道の沿
線には都邑が多くて、我が内地人
の在住してゐるものが多い。

新京はこの國の首府で、政治交通
の中心であるばかりでなく、大豆

滿洲と我が國との關係

木材の集散地である。奉天は南滿洲第一の大都會、ハルビンは北滿洲第一の大都會で、共に商業交通の中心をなしてゐる。營口、安東は大連に次ぐ滿洲の主な門戸である。滿洲は我が國と地續で、國防上、産業上、極めて密接な關係にあつて、我が國の生命線となつてゐる。明治二十七八年、同三十七八年の兩戰役及び昭和六七年の滿洲事變に於て、我が國が多大の犠牲を拂つたのも、皆そのためである。それ故、滿洲が支那から獨立するや、我が國は直ちに之を承認し、次いで國際聯盟をも脱退して、東洋の平和と、この國の開發のために非常な努力をしてゐる。

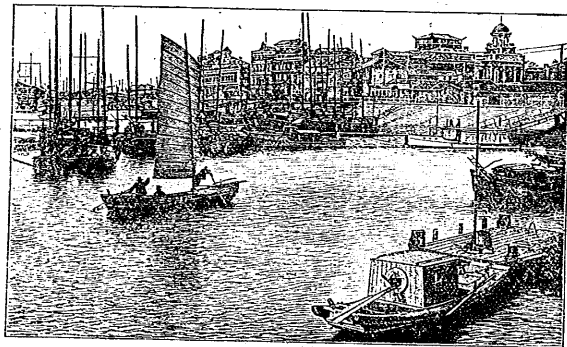
三 支那(中華民國)

支那は面積が我が國の凡そ十五倍もあつて、人口が世界

區域

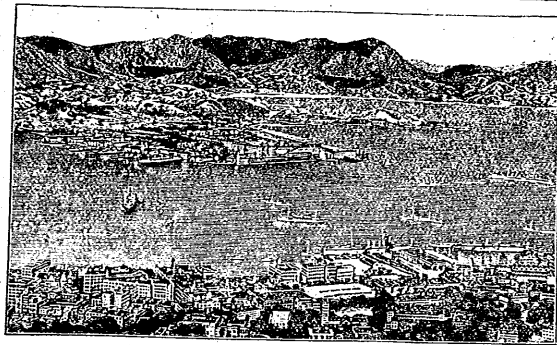
支那本部
農業工業
牧畜業

の總人口の凡そ五分の一もある大きな國である。國內は支那本部、蒙古、新疆、青海、西藏等の數部に分れてゐるが、その中でよく開けてゐる處は支那本部である。南京は揚子江の下流にある都會でもとの首府である。又北京ももとの首府で、支那にある重要な都會である。支那本部の住民は支那の總人口の九割餘を占め、大部分は支那平野に住まつて農業に従事してゐる。この平野の北部は雨が少く、寒暑の差が甚しく、その主な産物は



南京の埠頭

鑛業



港 香

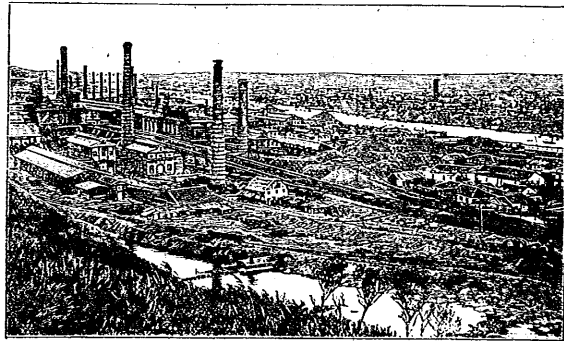
麥・豆・高粱である。この平野の南部の中で、揚子江の流域は氣候が温暖で且雨量が多いので米・茶・繭・綿・麻等の産額が多い。随つて製絲・製茶の業が各地に發達し、殊に上海では綿絲紡績業が盛である。又南方の珠江の流域でも米・茶・繭等の産額が多い。主な輸出品は生絲・絹織物・茶で、主として上海・廣東・香港から積出される。牧畜も亦盛で、豚・牛・馬・羊などが多い。

支那本部は種々の鑛物に富む。殊に北部・中部には鐵鑛と石炭とが

交通・貿易

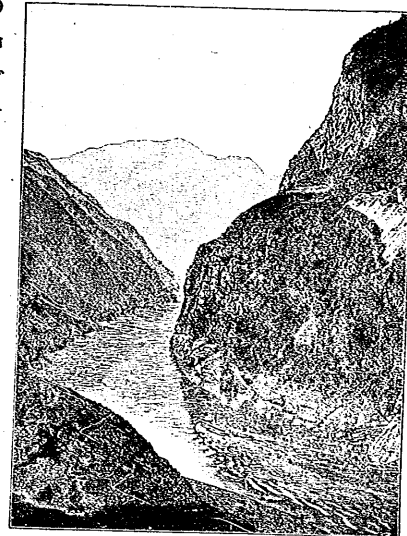
多い。しかし採掘されてゐるのはその一部分に過ぎない。鐵鑛は漢口の南東にある大冶の鑛山で最も多量に採掘され、又石炭は主として天津の北東にある開平の炭坑と、大冶の南にある萍郷の炭坑で採掘される。漢口の對岸にある漢陽の製鐵所では、大冶の鐵鑛を原料とし、萍郷の石炭を燃料として盛に鐵を製鍊してゐる。又我が八幡の製鐵所でも大冶から多量に鐵鑛の供給を受けてゐる。

支那平野は比較的交通便利



所鐵製るあに陽漢

である。殊に揚子江は自然の大交通路で、その本流も支流も大部分は船が通り、川口から約一千キロメートルの上流にある漢口までは、海洋を航行する大きな汽船も自由に往來することが出来る。随つて漢口と揚子江の川口近くにある上海とは水陸交通の要地で、商業が甚だ盛である。



揚子江の上流

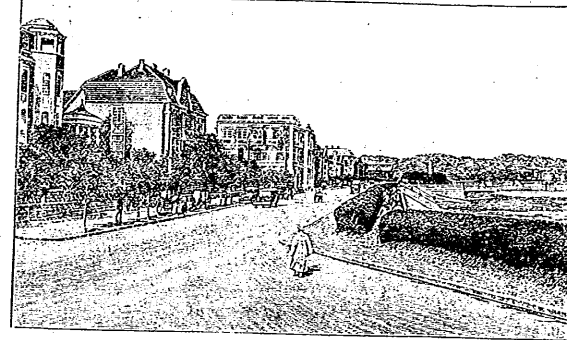
鐵道の幹線は大に南北に通じてゐる。その中で京山線と京漢線とは北京に起る。京山線は山海關で滿洲の奉山線と連絡し、京漢線は

漢口に至つて、その對岸の武昌から南に向ふ粵漢線と連絡を保つてゐる。粵漢線は漢口と廣東とを連絡するものである。又津浦線は京山線の要驛天津に起り、南の方、揚子江下流の浦口に至つて、その對岸の南京から上海に至る鐵道と連絡を保つてゐる。

この外の主な鐵道は膠濟線で、膠州灣沿岸の青島に起り、濟南に至つて津浦線に連絡してゐる。支那本部は海岸線の出入が少く、良港に乏しい。海岸の主な港とし



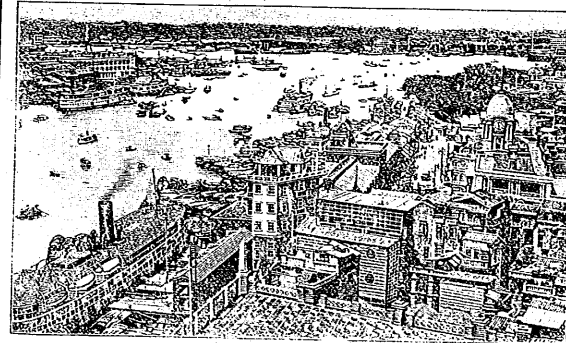
天津の今日の居留地



青島

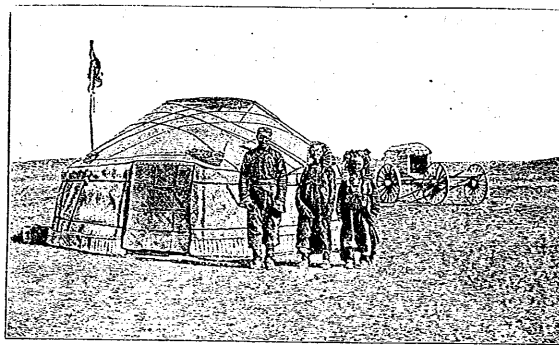
地となつてゐる。中でも上海・香港の二港は我が神戸・横濱・大阪の三

ては北部の青島・南部の香港の二港があるばかりである。しかし川を利用した港には天津・上海・漢口・廣東等の諸港があつて共に海上交通の要



東 廣

蒙古



蒙古人の住家

る。土地は概ね沙漠か又は不毛の荒地で、住民は多く水草を追うて轉

港と共に、本洲の太平洋方面に於ける交通及び貿易の大中心地となつてゐる。蒙古は支那本部の北部に位する廣大な高原で、中央にあるゴビ沙漠によつて内蒙古・外蒙古に分たれて

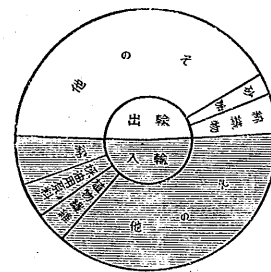


商隊と漠沙ビゴ

我が國と支那との關係

住し、牧畜に従事してゐる。しかし内蒙古の東部には、定住して農業を営むものが次第に増加して來た。

我が國は古來支那との關係が深く、昔は我が國の文明は支那の影響を受けることが少くなかつた。しかし明治二十七八年戰役以後は我が國は却つて支那の開發のために多大の犠牲を拂ひ、兩國の親善によつて共存共榮の實をあげんことに努めたので、その結果、彼我の關係は益々密接となり、我が國人の支那に在留するものも次第に増加し、山東省をはじめ、各地で商業、工業、海運業等に従事するものが多く、又彼我の交通貿易も年々發達するに至つた。



我が國と支那との貿易品目別輸出入額 (昭和九年)
 輸出 2,800,000 千圓
 輸入 3,000,000 千圓

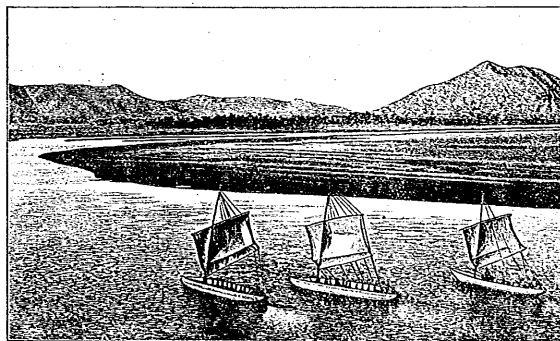
地勢・産業

抗日の思想を鼓吹し、我が國に敵對するので、遂に昭和十二年七月、支那事變の勃發を見るに至つた。我が國は支那の反省を促し、東洋永遠の平和を建設する使命の下に國を擧げて全力を盡し、着々その目的を遂行してゐる。

四 シベリヤ

シベリヤはロシアに屬し、その面積は我が國の十九倍もあるが、人口は七分の一に過ぎない。

地勢は大體南が高く、北に向つ



黒龍江

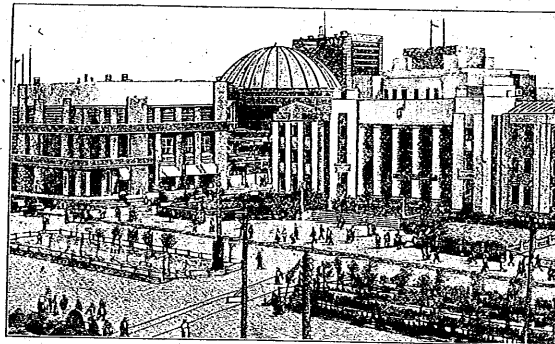
て次第に低く、遂に平地になつてゐるから、オビ・エニセー・レナ等の大きな川は、大てい南から北に流れて北極海にはいる。たゞ黒龍江だけは東に流れて間宮海峡にはいつてゐる。エニセー川の上流にあるバイカル湖は世界で最も深い湖である。

シベリヤの北部は一年中大てい凍結してゐる凍原、中部は一帯の森林地で、いづれもまだ開けない。しかし南部の平地の部分は地味が肥えて、夏の気温が割合に高いから、移民が次



クットスボデラウ

通都邑・交



ノボシビルク

第に増加して、小麦の耕作、牛羊の牧畜が盛となり、都邑も處々に出来てゐる。又南部の山地には金銀等の鑛産物が少くない。

太平洋方面の近海は世界の大漁場として名高い處で、夏期には我が國から出漁するものが甚だ多く、さけます、たらかにの産額が多い。又沿海の川からはさけますがたくさんとれる。

ウラヂボストクは日本海に臨む港で、シベリヤの門戸である。我が敦賀との間に定期航路が開かれ

てゐる。この地を起點とするシベリヤの鐵道の幹線は、世界の鐵道の幹線の一部であつて、滿洲の鐵道と連絡し、シベリヤの南部を通つてヨーロッパの鐵道に接續する。又滿洲の鐵道によつて我が朝鮮の鐵道とも連絡してゐる。シベリヤの鐵道の幹線に沿つてイルクーツク・ノボシビリスク・オムスク等の都會がある。

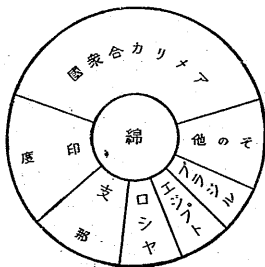
五 印度

印度はイギリスの領地の中で最も重要な國であつて、ヒマラヤ山脈の南に位し、我が國に比べて面積は五倍以上もあり、人口は三倍以上もある。首府デリーはガンジス川の上流の地方にある。

氣候・都邑・産業

印度の大部分は熱帶性の氣候で、平野は暑さがはげしい

が、山地は一般に氣候が溫和である。農業は古來印度第一の産業で、住民の大部分はこれに従事してゐる。米・小麥・綿・ジュート・麻茶・さたりきび等の農産物が甚だ多い。これらの農産物は印度の主な輸出品となつてゐる。又牛や羊の飼養も盛で、牛皮の産額が多い。鑛産物では石炭・鐵の産額が多い。

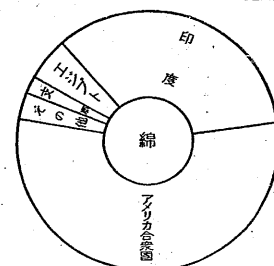


世界に於ける産額の比較
(總産額約五百二十萬昭和九年)

額が多い。カルカタとボンベイとは印度の東西の門戸で、交



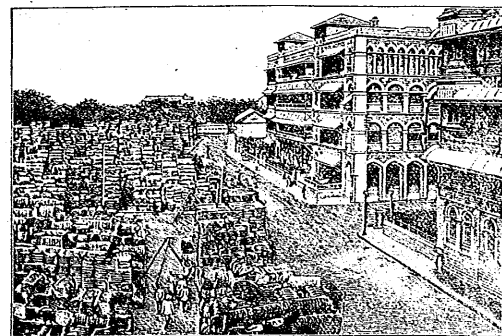
茶 摘



綿るれさ入輸へ國が我
圓萬千三億七約額入総
(年九和明)(隨萬二十八約)

通や貿易が盛である上に、共に紡績業、織物業が盛である。カ

ルカタからはジュート、麻茶等、ボンベーからは綿小麥等の輸出が多い。セーロン島のコロomboはヨーロッパとアジャ洲との間の海上の交通の要路に當り、又多く茶を輸出する。鐵道は北部の平野に最もよく發達し、川や運河の利用も盛である。又航路は内外各地に通じてゐる。



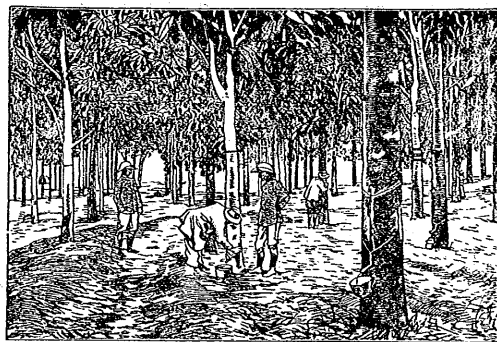
ー ー ベ ン ボ

貿易はイギリス本國との間に最も盛であるが、我が國との間も次第に盛になつてきた。殊に我が國の汽船は定期に前記の諸港に往來してゐるので、この國からは綿鐵等を輸入し、我が國からは絹織物、絹織物、人造絹織物、綿絲等を輸出する。

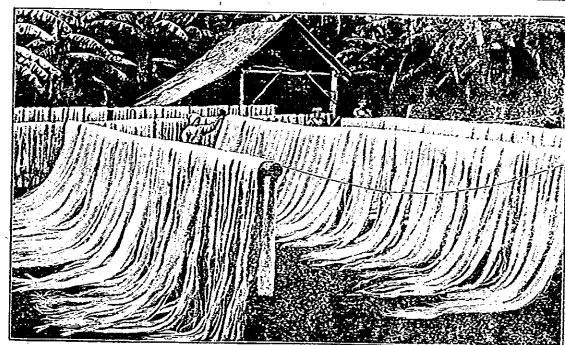
六 東南アジャ

印度支那半島及びマレー諸島を東南アジャといふ。

印度支那半島は獨立國としてはシムのみで、他はイギリス、フランス二國の領地である。大體山地が南北に連なり、



集 採 の 液 ム ゴ



マニラの麻乾場

主な川はその間に深い谷をつくつて南流してゐる。これらの川の下流の沿岸には平地があつて米の産額が多い。米はイギリス領ビラルマのラングーン、シヤムの首府バシコク、フランス領印度支那のサイゴン・ハイフォン等の諸港から輸出される。

又ハイフォン附近の石炭は我が國へも送られる。

マレー半島は錫及び鐵鑛の産が多く、且ゴムの木の栽培が盛である。ゴムと錫とは世界の主産地で、共に我が國へ

も多量に送られる。我が國人の在住するものも少くない。半島の南端に近いイギリス領のシンガポールは世界交通上の要地で、各國の船舶の出入が多く、又軍事上の要地となつてゐる。

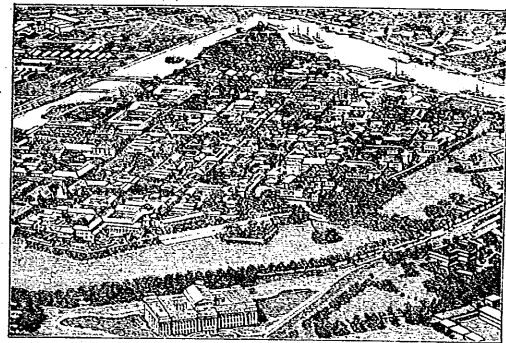
マレー諸島ではさとうきび・ゴム・マニラ麻やし等の栽培が盛に行はれてゐる。中でもオランダ領のジャワ島は農業が盛で、さとうきびの産が多い。又ボルネオ島とスマトラ島からは石油を出す。石油と砂糖とは共に我が國へもたくさん送られる。フィリピン群島からは



マニラの土人

マニラ麻やコプラが多く輸出される。

マレー諸島は近年我が國人の渡航するものが次第に多くなり、その事業も次第に發展してゐる。殊にフリピン群島のダバオ附近に在住するものが多い。又我が國の汽船はマニラ・シンガポール・バタビヤ・スラバヤ等の諸港に定期的に往來してゐて、彼我の貿易も盛である。



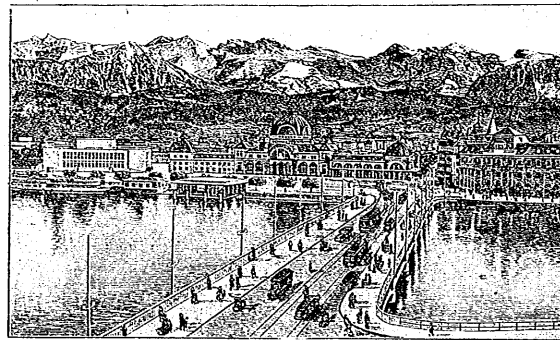
マニラ

第九 ヨーロッパ洲(歐羅巴洲)

區域

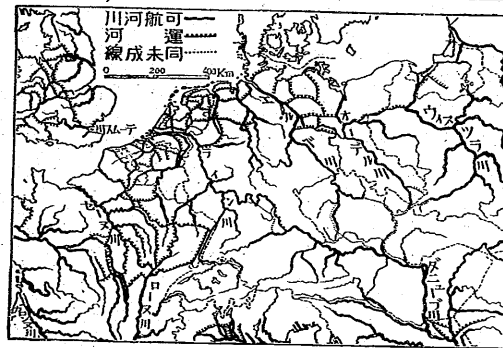
ヨーロッパ洲はアジア洲の北西に連なつてゐる半島狀の大陸で、北には北極海、西には大西洋をひかへ、南は地中海を隔ててアフリカ洲と相對してゐる。面積はアジア洲の四分の一にも足りないが、人口は凡そ二分の一で、人口密度はすべての大陸中で最も大きい。

本洲はイギリス・フランス・ドイツ・イタリア・ロシア・オランダ・ベルギー・イスパニヤ・ポルトガル等大小三十餘國に分れてゐる。イギリス・フランス・イタリアはその本國の



アブル山脈

地勢



河運及び川河航可のヨーロッパ部中

面積と人口に於ては我が國に及ばないけれども、いづれも世界の主要國の一で、他の大陸に廣い領地をもつてゐる。中でもイギリスはその領地の面積が世界の陸地の四分の一、人口が世界の人口の四分の一に上つてゐる。本洲の南部及び南西部はアルプ山脈をはじめあまたの山脈があつて、平地が少く、北部のスカンディナヴィヤ半島も亦平地が少い。しかしその他の部分は、大いなる大きな平地で、殊に東部のロシアから中部のドイツへかけての平地は最も廣

産業
農業

大である。
大きな川は主としてこの方面に多く、一般に流がゆるやかで、運輸灌漑の便が多い。その上これらの川は運河によつて互に連絡されてゐるところが少くないので、黒海方面とバルチック海や北海方面とが、川によつて航路が相通じてゐる。
ヨーロッパは西の大西洋近海を流れるメキシコ灣流と稱する暖流の影響を受けるから、アジア洲や北アメリカ洲の同緯度の地方に比べると、氣候が遙かに温暖で



菜甜と菜甜



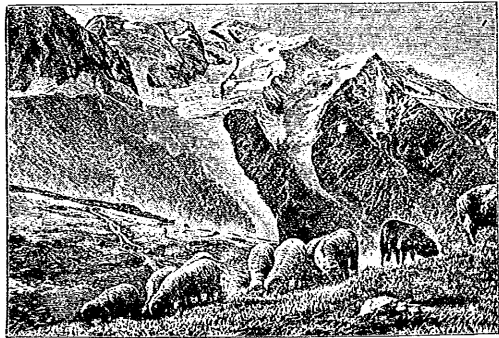
畑 う だ ぶ

あり、しかも大西洋方面から十分の湿気をもたらすので雨量が多く、随つて本洲には沙漠がない。

農業は廣く行はれ、東部から中部へかけては麻麥、中部では甜菜、じやがいも等がたふさんとれる。ロシア、ポーランドでは麻織物、ドイツ、ロシア、フランスでは甜菜糖の製造が頗る盛である。又地中海方面ではぶどう、オリブ、レモンなどの栽培が盛である。フランス、イタリアではぶどう酒がたふさん製造される。

牧畜

牧畜は廣く各地に行はれ、殊に羊、牛、馬の飼養が盛である。中でもロシアでは南東部に廣い草原があるから、牧畜が殊に盛であつて、皮類の製造業も發達してゐる。オランダ、デンマークでは牛の飼養が盛で、バター、チーズが多く製造され、外國にも多く輸出される。又地中海方面では羊、山羊の飼養が盛である。中部から北の諸國には森林が多く、殊にロシア、スウェーデン、フィンランド、ドイツ等には廣い森林があつて、木材の産額が多い。又スウェーデン、ノルウェーでは木材から盛に



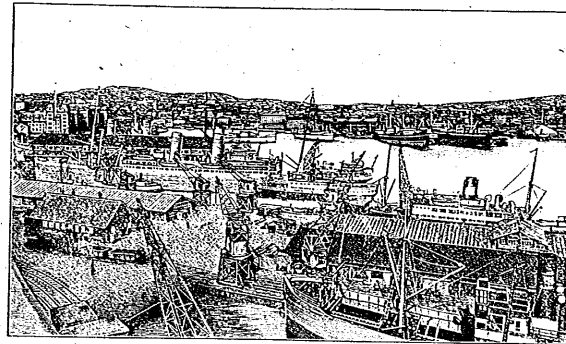
畜牧の中山ブルア

水産業

バルブを製造する。このバルブは我が國へも送られる。

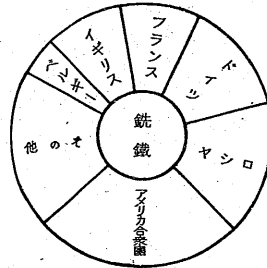
ヨーロッパの西の海岸は水産業が極めて盛である。中でもノルウーの近海と北海とは世界屈指の大漁場で、ノルウーの近海のたらしん、北海のにしんはその産額が極めて多い。

中部から西部にかけては鐵鑛石炭が豊富である。殊にイギリス・ドイツでは石炭、フランス・イギリス・ドイツ・ロシアでは鐵鑛の産額が多く、いづれも世界の主な産地となつてゐる。隨



港漁のーウルノ

工業



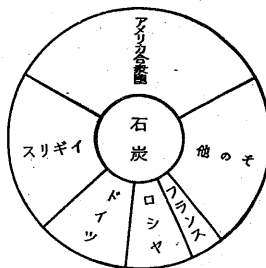
世界に於ける鐵鑛の産額比較 (昭和九年)

つてこれらの諸國では鐵の製鍊精製、機械の製造が甚だ盛である。又他の大陸から輸入した原料を用ひて種々の工業品を製する。中でも綿絲、綿織物、毛織物、船藥品、機械はその産額が甚だ多く、廣く各國にも輸出される。

この外ベルギー・オランダにも各種の工業が發達してゐる。

交通・貿易

本洲は産業の進歩と共に交通の便も大いに開け、鐵道は到る處に敷設されてゐる。中でもベルギー・スイス・イギリス・ドイツ等の諸國では鐵道



世界に於ける石炭の産額比較 (昭和九年)



中部ヨーロッパに於ける鉄・石炭の主要産地

が極めて発達してゐる。

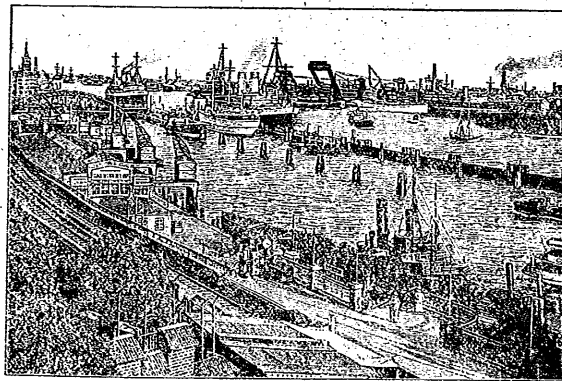
鐵道の幹線はロンドン・パリ・ベルリン・モスコウ等を中心として四方に通じてゐる。ロシアを通ずる幹線はシベリヤの鐵道の幹線と接續する。又バルカン半島を通ずる幹線は西部アジアの幹線と連絡してゐる。

又航空事業も大いに発達してゐる。主な都會の間には定期航空路が開かれてゐるばかりでなく、遠く他の大陸へ通ずるものも少くない。

本洲は海岸線の出入が多く、又川の下流は大きな船が通

れるから、海岸にも、川岸にも、到る處に良港があつて、水上の交通は甚だ便利である。イギリスのロンドン・リバプール、ドイツのハンブルグ、フランスのマルセイユは、いづれも世界で名高い港であつて、世界各地の諸港と航路が相通じ、船の出入が極めて多い。殊に大西洋上に於ける船の交通は最も盛である。

水上交通の發達、造船業の進歩と共に、本洲諸國の船舶は愈その數を増加し、イギリス・ノルウェ



ハーブルグ

イギリス
(英吉利)

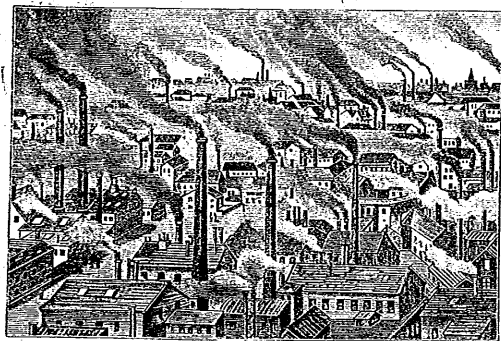
イギリスは、いづれも世界の海運業に於て優勢の地位を占めてゐる。中でもイギリスは世界で最も海運業の盛な國であつて、世界の貿易の中心になつてゐる。



ロンドンの市街

領地と、多數の人口とをもつてゐる。この國には多量の石炭が産出するので、その領地や諸外國から種々の原料品

イギリスはその本國は我が國より小さい島國であるが、海外到處に領地を有し、世界無比の廣い

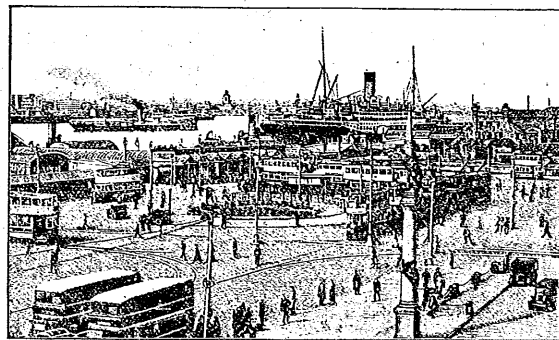


イギリスの工業都市

を輸入して、これに加工する工業が極めて盛である。中でも綿羊毛の紡績業、織物業の盛なことは世界屈指である。又鐵鑛の産出も多いから製鐵業もよく發達してゐる。これらの工業製品は大部分諸外國へ輸出される。随つて貿易業が本國と領地との間に盛であるばかりでなく、諸外國との間にも極めて盛である。かやうにイギリスに於ては、これら工業、鑛業、商業及び海運業等が他國に先んじて隆盛となつたので、國力が大いに發展したのであ

フランス
(佛蘭西)

る。
首府ロンドンにはテムス川の下流に臨み、接續してゐる町を加へると、人口が約八百萬、世界第一の大都會である。又ロンドンはリバプールと共に世界各國の船舶の出入が頗る盛な處で、世界の大貿易港である。
フランスは海外に廣い領地を有し、本國とその領地とを合はせると、その面積の大きなことでは世界の第三位で、イギリス・ロシアに次いでゐる。氣候が一般に溫和で、南部の地中海



ループパリ

イタリア
(伊太利)

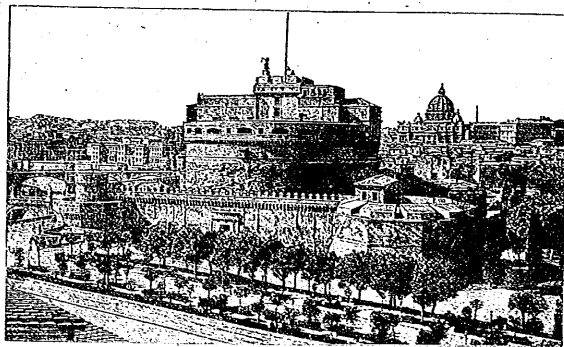


沿岸地方は殊に溫暖である。氣候がよく、地味の肥えた耕地が多いから、農業が盛で、小麦・ぶどう等の産額が多く、ぶどう酒の製造が盛である。又石炭鐵の産額が多いから、工業も發達してゐる。中でも絹織物は有名であるが、その原料は主として我が國や支那から輸入されるのである。首府パリは人口が約三百萬、美術工藝の盛な都會である。
イタリアは我が國のやうに山地が多く、火山に富み、地震も多い。川

は交通にはあまり利用されないが、発電には大いに利用され、その電気は國內に石炭の産出額が少いので、主として工業の動力に用ひられる。

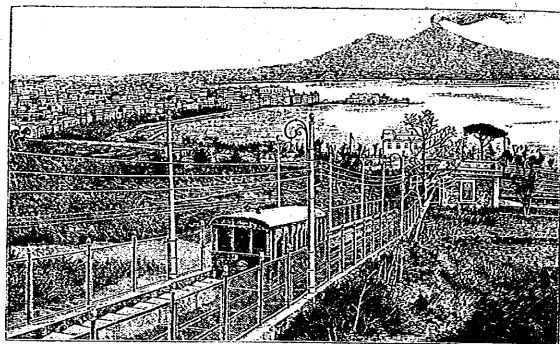
北部のポー川の平地は農業が發達し、工業も盛である。

この國は地中海の交通の要路に當つてゐるので、海運業貿易業も盛である。近年エチオピアを併合し、國運が益盛になつた。又近時我が國との間に防共協定が結ばれ、彼我の間が頓に親密になつた。



マ - ロ

ドイツ
(獨逸)

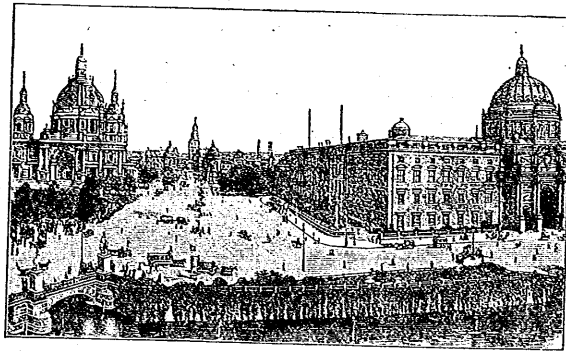


ス ル プ - ネ

首府ローマは古來有名な處で、ネーブルス港は景色が好い港である。

ドイツはもと海外に廣い領地を有してゐた大國で、商業、鑛業、工業、海運業などが極めて盛であつたが、世界大戰の結果、本國の一部と海外の領地の全部を諸外國に譲り渡し、これと共に鐵鑛産地の大部分と炭田の一部分をも失ひ、又多數の大きな船を諸外國に引渡したため、國力が一時大いに衰へたが、國民が復興に努力したので、今や各種の産

業が再び盛となり、國力が充實した。從來我が國とは關係が深かつたが、近時防共協定が結ばれるに至り、一層親密の度を増すに至つた。又この國は學術の研究及びその應用が盛で、殊に化學工業が最も發達してゐる。その上、近時オーストリアの全部と、チェコスロバキヤの一部とを併合するに至り、國運が益隆昌に向つて來た。首府ベルリンは人口四百二十萬、ヨーロッパに於ける陸上交通の要地で、商工業も盛な處である。

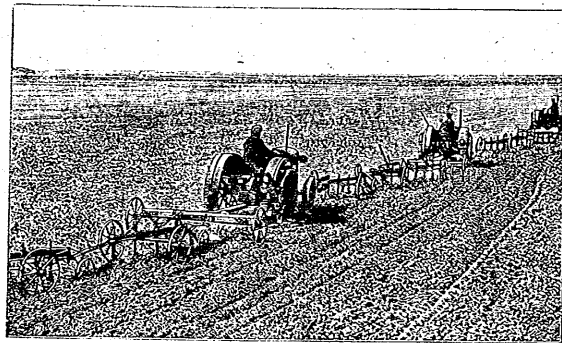


ベルリン

ロシア(ソビエト聯邦)は一般に平地で、大きな川が多く、水運灌漑共に便利であるが、北の大部分は寒氣がはげしい

ので産業が發達しない。しかし南部は、割合に溫暖で、農業や牧畜が甚だ盛である。殊に小麥の産額が多い。近時工業をはじめ、各種の産業が著しく發展してゐる。

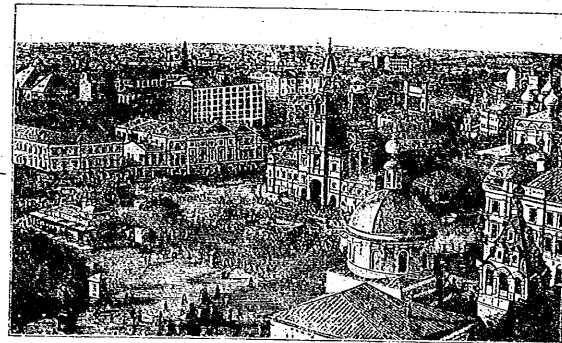
この國は本國の面積が大きいばかりでなく、アジア洲に廣い領地を有し、イギリスに次いでの大きな國である。その領地のシベリヤは我が國と接近してゐるので、我



ロシアの農場

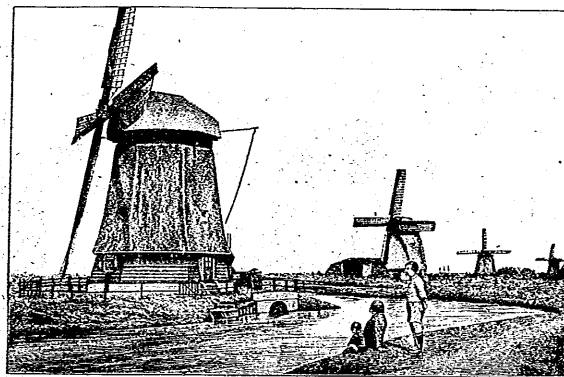
その他

が國とは殊に深い關係がある。首府モスコは人口三百六十萬、世界の陸上交通の要地である。オランダ・ベルギーはその本國だけてはいづれも我が國よりよほど小さいが、共に海外に廣い領地を有してゐる。オランダは農業、牧畜が盛な處で、ベルギーは工業の發達してゐる處である。又これらの二國は我が國やイギリスと共に、人口の密度が世界で最も大きな國である。ポーランド・チェコスロバキヤは世界大戰中に起つた國々である。ス



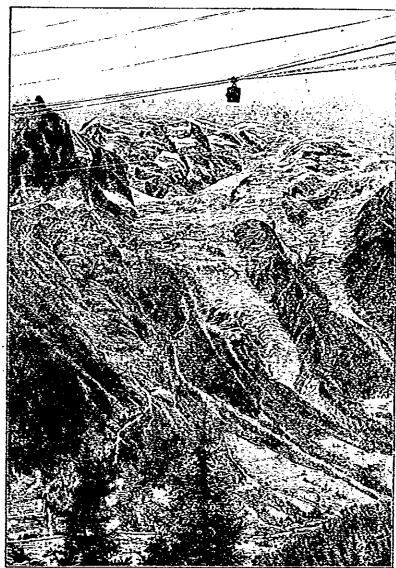
モスコ

我が國との關係



オランダの風景

イスはアルプ山中にある小さい國であるが、水力を利用した各種の工業が發達してゐる。又山水の風景が美しいので、遊覽地として世界に知られ、登山の設備等も行届いてゐる。それ故諸外國から來遊するものが極めて多い。歐洲諸國の中我が國と條約を結んでゐる國は二十餘箇國もある。その中イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・ロシア・ベルギー・ポーランドの諸國には大使館を置き、その他の條約國には



—カルブーケの中山ブルア

大てい公使館を置いてゐる。
我が國と歐洲諸國との交通は甚だ便利で、イタリヤ・フランス・イギリス・ベルギー・オランダ・ドイツの主な港には、我が歐洲航路及び大西洋航路が通じてゐて、貿易も益盛になつて行く。殊にイギリス・ドイツ・フランスは我が國の貿易上の主な取引先で、我が國から輸出するのは生絲・絹織物及び罐詰・罐詰が主である。生絲はフランス・イギリスへ、絹織物及び罐詰・罐詰はイギリスへ行

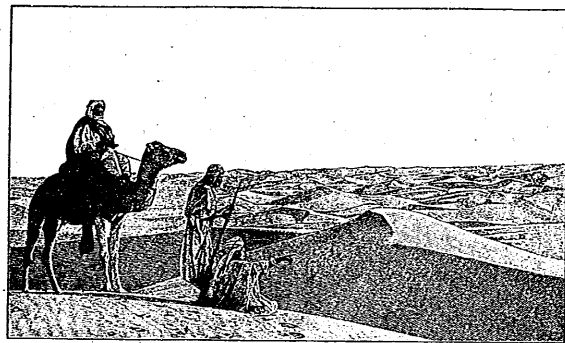
くものが多い。我が國へ輸入するのはドイツ・イギリスからの機械、ドイツからの人造肥料、及びノルウェーからのパルプが主なものである。

第十 アフリカ洲(アフリカ洲)

アフリカ洲は大いさに於ては世界第二の大陸で、人口は凡そ一億五千萬、獨立國はエジプト外一箇國だけで、大部分はイギリス・フランス等歐洲諸國の領地となつてゐる。本洲は北部に廣く、南部に狭い。大體高原狀で、殊に印度洋沿岸の土地が高く、且この方面にはたくさん湖があつて、ナイル川・コンゴ川などの源となつてゐる。
高原が海岸近くまで迫つてゐる處が多いので、大ていの

地勢

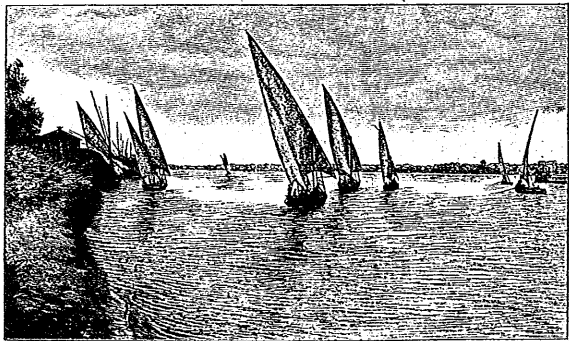
區域



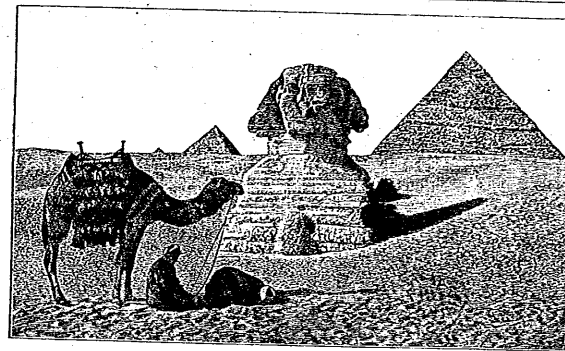
サハラ沙漠

川は下流が急流や瀧などになつてゐるから、水運上、河海の連絡が不便である。又海岸線の出入が少いから良灣良港に乏しい。本洲の大部分は熱帯にあつて暑さがはげしい。その中、中部の地方は雨量が多いので、到る處に大森林があるけれども、交通が不便だからあまり利用されてゐない。南部及び北部の内地は雨が少いので、廣い草原や沙漠があるばかりで、交通も産業も共に發達してゐない。殊に北部のサハラ沙漠は世界第一の大

沙漠で、その面積は本洲の五分の一ほどもある。ナイル川は本洲第一の長い川で、ビクトリヤ湖から出て北に流れ、地中海にはいつてゐる。下流は流がゆるやかで水量が多く、古來運輸に利用されてゐる。又その沿岸には平地があつて、農業が昔から發達し、綿や穀物がたくさんとれる。これは毎年夏季になると、上流地方に雨が多く降るので、川水が著しく増して一面にあふれ、上流から運ばれて來る肥えた土が地面に堆積するからである。

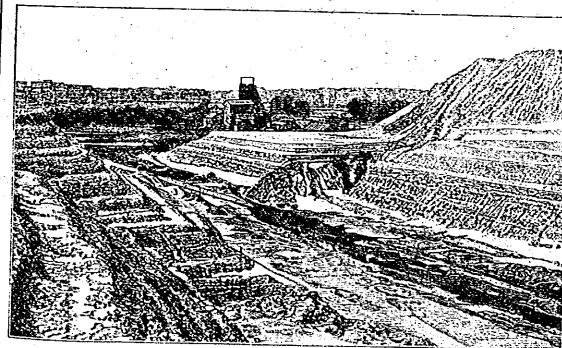


ナイル川

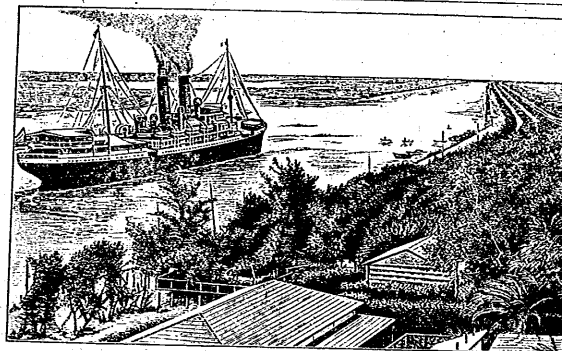


スキュピスとドミラビ

る。
カイロはエジプトの首府で、ナイル川下流の沿岸にあつて、本洲第一の都會である。その附近には古代の文明を物語るピラミッドやスフィンクスがある。



山金の邦聯カリファ南



河運ズエス

イギリス領の南アフリカ聯邦は世界での金や金剛石の主産地であつて、羊の牧畜、駝鳥の飼養も亦盛である。南端の喜望峯に近いケープタウンはこの聯邦の門戸に當つてゐる。本洲の内地は地勢、氣候等の關係によつて、交通が不便で、長い間開けなかつたが、近年ヨーロッパ人が漸次開發の歩を進めたため、次第に交通の便が開けてきた。カイロとケープタウンとの間を南北に縦貫する鐵道も完成しやうとしてゐる。近時沙漠では自動車が利

用されるやうになり、又ヨーロッパ洲との間には定期航空路も通じてゐる。

スエズ運河は長さ約百六十キロメートル、ヨーロッパ洲とアジア洲との間の海上交通の幹線である。

第十一 北アメリカ洲(北亞米利加洲)

北アメリカ洲はほぼ三角形の大陸で、北西はベーリング海峡を隔ててアジア洲に對し、南は細長い地峡となつて南アメリカ洲につゞいてゐる。面積はアジア洲の凡そ二分の一であるが、人口は凡そ一億八千萬である。カナダをはじめイギリスの領地が處々にあるが、その他は大小あまたの國々に分れてゐる。多くは國力が振はないが、たゞ

區域

地勢

ひとりアメリカ合衆國が世界の主要國の一として富強を誇つてゐる。

西部にはロッキー山脈が南北に長く連なつて、本洲の大部分



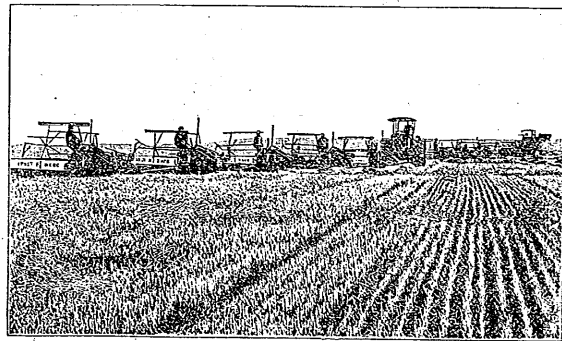
ナイアガラ瀧

水嶺となつてゐる。この山脈はヒマラヤ山脈に次ぐ雄大なもので、その中央の部分は山脈がいくすぢにも分れ、處處に廣い高原や盆地をはさんでゐる。又處々に火山もそびえてゐる。

東部にはアパラチャ山脈が北東から南西に連なつてゐる。

るが、ロッキー山脈に比べると甚だ低い。

これら東西兩山脈の間の中央部は南はメキシコ灣から北は北極海に至るまで一帯の大平原である。その北部は寒氣がはげしいので凍原が多く、人口も少く、産業も進んでゐない。中部はスペリオル湖、ミシガン湖等のいはゆる五大湖をはじめ、湖が多く、南部は大體ミシシピ川の流域である。五大湖は船の交通が至つて便利で、その航路は運河によつてセントローレンス川及び



合衆國に於ける小麦收穫

産業
農業
牧業
林業



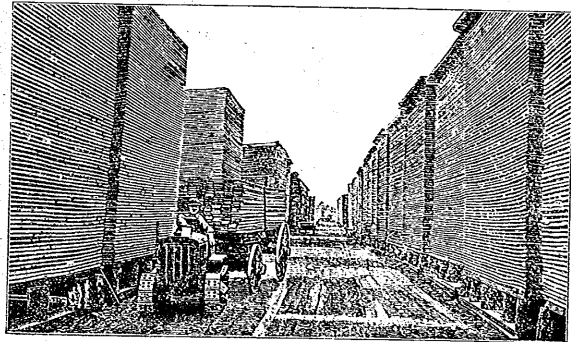
綿の收穫

ミシシピ川についてゐる。ミシシピ川は、世界第一の長流で、水量がゆたかで、流もゆるやかであるから、船の交通が甚だ便利である。又灌漑の便も多く、發電にも五大湖と共到大いに利用されてゐる。中部から南の平地はかやうに水運灌漑の便があり、地味も肥えてゐて、氣候も温和であるから、農業牧畜が盛で、いづれも大規模に營まれてゐる。殊に合衆國は綿たうもろこし煙草の産額が多く、共に世界第一である。

小麦はロシアに次ぎ、世界第二の産額をもつてゐる。この外、じゃがいも、甜菜等の産額も多い。又牛、馬、豚、羊の飼養も極めて盛である。カナダでは小麦の産額が甚だ多く、我が國へも多く輸出される。

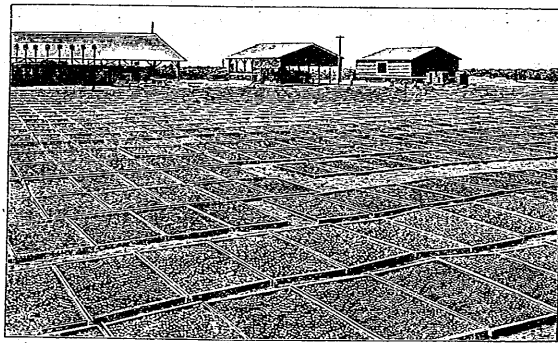
カナダの東西兩部と合衆國の西部には大森林があつて木材の産出が多く、パルプの製造も盛である。木材やパルプは我が國へも多く送られる。

合衆國は果樹の栽培が盛で種々の果物を産する。中でも太平洋沿



製材の集積

水産業



岸のオレンジ、ぶどう、メキシコ灣岸のオレンジ等が殊に名高い。なほ中央アメリカや西印度諸島ではさとうきび、バナナ、煙草、コーヒー等の栽培が盛である。殊に西印度諸島のキューバ島は砂糖の産地として世界に知られてゐる。

ぶカナダから合衆國の北東部へかだけての大西洋沿岸は水産物が豊富で、たらにしんの漁獲が極めて多い。殊にニューファンドランドの近海は世界屈指の大漁場である。又合衆國の東海岸やメキシコ灣岸

に於けるかきの養殖も名高い。カナダやアラスカの太平洋沿岸の川ではさけが多くとれる。

貿易工業

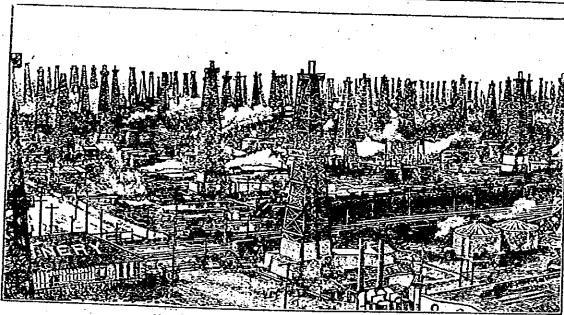
合衆國・メキシコ・カナダはいづれも鑛産物が多い。中でも合衆國は種々の鑛産物が豊富であつて、鐵、石炭、石油、銅の産額の多いことは到底他國では見ることの出来ない程である。又カナダのニッケル、メキシコの銀及び石油は共にその産額が甚だ多い。



港漁のドンラドン・フューニ

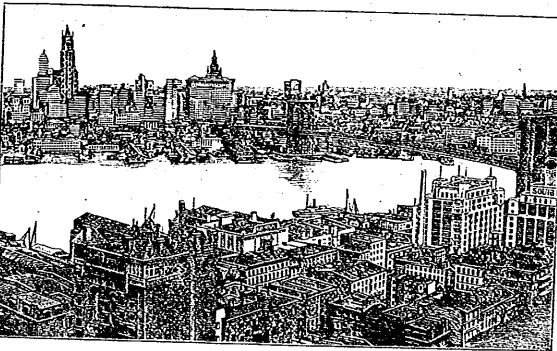
合衆國で石油を多く産する地方は大平原の南西部及び

カリフォルニアであつて、その産額は世界の殆ど三分の二を占めてゐる。



井油の岸沿洋平太の國衆合

鐵鑛はスベリオル湖附近で多く産する。この鐵鑛は五大湖を利用して石炭を多く産する北東



クーヨーニ

部に送られて製鍊される。随つてこの地方は合衆國に於ける最大



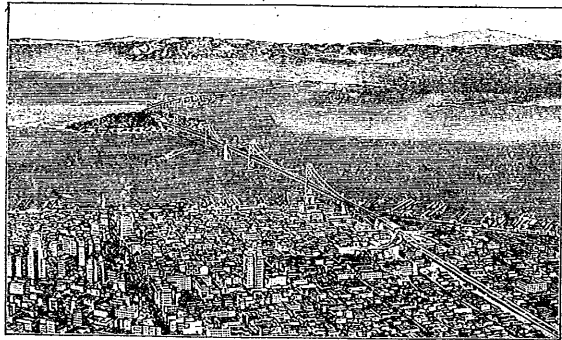
の工業地帯であつて、各種の工業が著しく進歩してゐる。ニューヨーク・ラデルフィヤをはじめ合衆國の大都會がこの地方にたくさんあるのも偶然ではない。中でもニューヨークは人口約七百萬、ロンドンと並び稱せられる世界の大都會で、貿易が甚だ盛である。シカゴは合衆國の中部地方にある大都會で、交通の要路に當り、人口約三百六十萬、農産物の大集散地である上、工業も極めて盛である。又ワシントンは合衆國の首府で、オタワはカナダの

交通

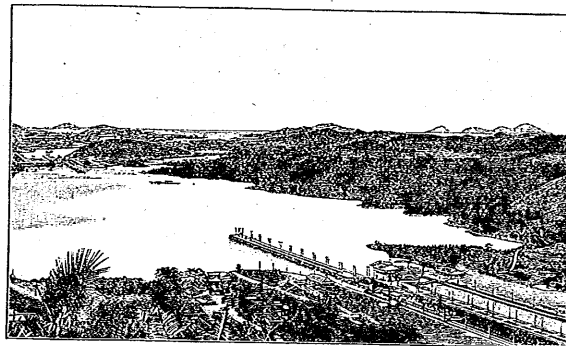
首府である。

合衆國は各種の産業が発達してゐるから、貿易も甚だ盛で、年貿易額が百二十億圓を超え、イギリスに次いで世界で第二位となつてゐる。

鐵道が最もよく發達してゐるのは合衆國及びカナダの南部であつて、大陸を横斷して太平洋西兩洋を連絡する幹線がいくつもある。合衆國にはこれらの幹線的大部分がある外、なほ鐵道が到る處に通つてゐて、その延長は四十萬



港コスシンラフンサ



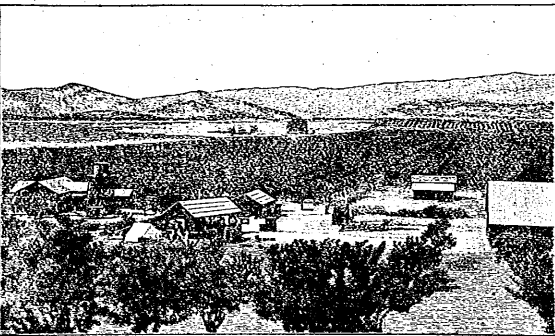
パナマ運河

キロメートルを超え、世界の鐵道の總延長の約三分の一に當つてゐる。又自動車や航空機の利用も極めて盛で、合衆國はそれらの數に於ても遙かに他の諸國を凌いでゐる。

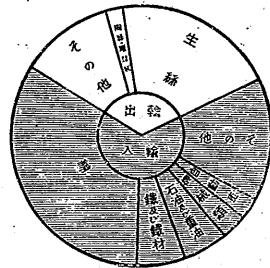
外國航路は大西洋方面からヨーロッパの諸港に通ずるものが最も多い。又太平洋方面から東洋南洋の諸港に至るものも次第に増加してゐる。港の主なものは大西洋方面ではニューヨーク・ボルトン・ポルチ・フライデルフ・ヤをはじめ、モン

我が國との關係

モア・ニューオールリヤンス・ガルベストンがあり、太平洋方面ではバンクーバー・シヤトル・サンフランシスコ・ロスアンゼルスがある。パナマ運河はパナマ地峽を切開いて造られた延長約八十キロメートルもある水門式の大運河である。この運河が開通してから太平洋大西兩洋を連絡する航路はその距離が著しく短縮され、世界の交通の上に大きな影響を與ふるやうになつた。



合衆國の太平洋沿岸に住る我が國の農園



我が國と合衆國と主なもの貿易品
(昭和九年)總貿易額二十億圓

港ばかりでなく、大西洋方面の諸港にも定期に航海してゐる。かやうに彼我の間の交通が便利となるに随つて、貿易も益發達して行く。殊に合衆國との貿易が最も盛で、我が國は綿、鐵及び鐵材、石油、機械、自動車、銅、木材、パルプ等を彼から輸入し、生絲、陶器、罐詰、罐詰等を彼に輸出する。又合衆國の太平洋方面には我が國人の在留してゐるものが約十萬人あつて、多くは農業に従事してゐる。

第十二 南アメリカ洲(南亞米利加洲)

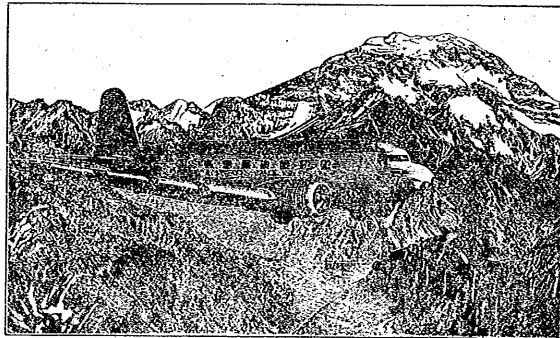
南アメリカ洲は北アメリカ洲に似てほぼ三角形の大陸

區域

地勢

で、面積は北アメリカ洲よりやや小さいが、人口はその約半分である。一部分はイギリス領、フランス領、オランダ領になつてゐるが、大部分はブラジル、アルゼンチン等十箇の獨立國に分れてゐる。

本洲の地勢は大體西部・中部・東部の三つの部分に分れてゐる。西部には太平洋の海岸に沿うて南北に走つてゐるアンデス山脈があつて本洲の大分水嶺をなしてゐる。この山脈は中にあまたの高い火山がそびえ、處々に高原があつ



アンデス山脈

て、地勢が甚だ高く又けはしく、ロッキ
ー山脈に勝るとも劣らぬ雄大な山
脈である。

東部にはブラジル山地があるが、こ
れは一般に高原状になつてゐてあ
まり高くない。

この兩山地の間の中央の部分は一
帯に廣々とした平地で、その北部で
はアマゾン川が東に向つて流れ、南
部ではラプラタ川が南に向つて流れ、水
量が多く、流がゆるやかで、大きな船も通ることが出来る
から、本洲の主要な交通路となつてゐる。殊にアマゾン川



アマゾン川沿岸の密林

業候・産

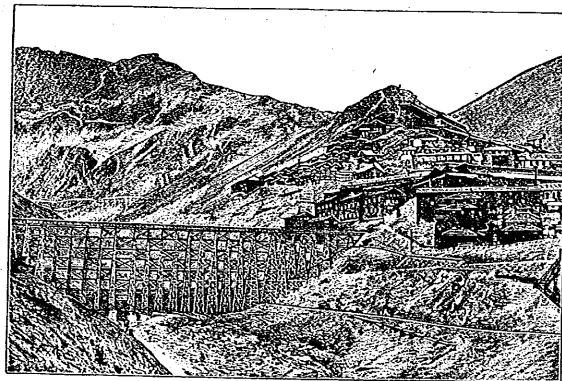


コヒーの収穫

は大洋を航行する大きな
汽船も、川口から一千六百
キロメートルの川上まで
往來することが出来る。
本洲の北半部は熱帯にあ
るので、低い處は暑さがは
げしく、濕氣も多くて、健康
に適しないから、産業も發達してゐない。アマゾン川流域
の大平地にある大森林の如きもまだあまり利用されず、
たゞゴムの木からゴムが採集される位であるが、しかし
近年漸くその一部が開拓に着手されてゐる。これに反し
て太平洋方面のアンデス山脈中の高原では、鑛業牧畜が

行はれ、又大西洋方面のブラジル山地では農業・鑛業・牧畜が行はれてゐる。

しかし南半部は温帯に屬してゐるので、氣候も温和で地味もよく農業・牧畜に適してゐる。中でもブラジルの南部やアルゼンチンの中部ではこれらの業が最も盛であつて、諸外國からの移民も多い。ブラジルのコーヒーは殊に名高く、世界の總産額の大部分を産出し、主としてサントス港から各國に輸出される。我が國の移民の



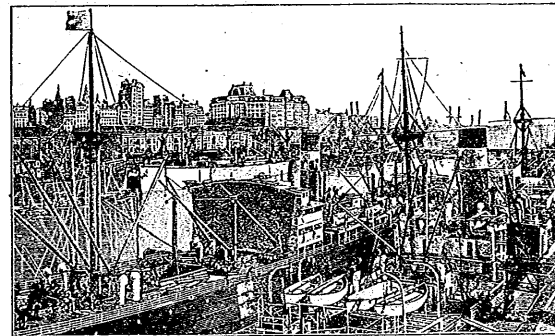
チリ銅山

交通・都



サントス港

大部分はコーヒーの栽培に従事してゐる。アルゼンチンでは多く小麦を産し、又羊や牛の牧畜も極めて盛である。それ故羊毛・皮類・肉類の産額も甚だ多く、小麦と共に主としてブエノスアイレス港から各國に輸出される。産業及び貿易の發達と共に、海上の交通も發達し、殊にヨーロッパ及び北アメリカ洲の諸國との間には船舶の往來が盛である。又陸上交通の便も次第に開けて、ブラジルの南部、アルゼ



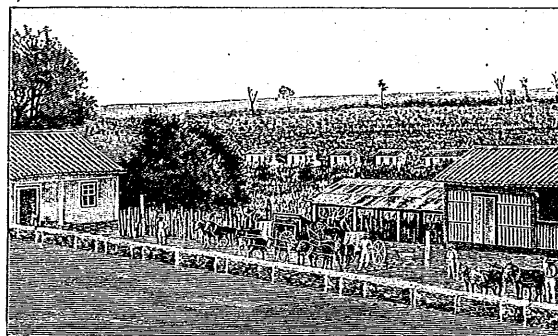
港スレイアスノエフ

ンチンの東部に於ては鐵道がよく發達してゐる。アルゼンチンからアンデス山脈の高い峠を越えてチリへ出る鐵道は太平洋の連絡線として有名である。近年北アメリカ洲やヨーロッパ洲との間の航



港ローネ・ジデオリ

我が國との關係



村の國人が我るけに米南

空路も開かれた。都會の主なもののはブラジルの首府リオデジャネイロ及びコーヒーの栽培の中心地サンパウロ、アルゼンチンの首府ブエノスアイレス、チリの首府サンチャゴ等である。大西洋方面にあるリオデジャネイロ、サントス、ブエノスアイレスの諸港及び太平洋方面にあるバルパライソ港、ペルーのカイヤオ港と、我が横濱・神戸との間には定期航路があつて、我が汽船のこの間

を往來するものが多く、彼我の貿易も次第に發達してきた。又我が移民の數も年々増加し、中でもブラジルに在留してゐるものは約十九萬人である。

第十三 大洋洲

區域

大洋洲は世界の大陸中で最も小さいオーストラリヤ(濠洲)と、太平洋の中部から南部へかけて散在してゐる大小あまたの島々をいふのである。總面積はヨーロッパよりやゝ小さく、人口は約一千萬で、その中約七割は白人で、多くはオーストラリヤに住まつてゐる。

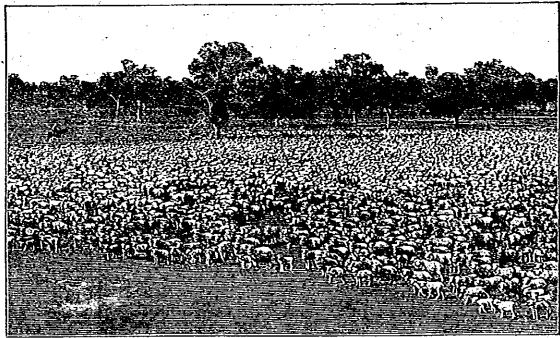
本洲は獨立國が一つもなく、大部分はイギリスに、一部分はフランス・アメリカ合衆國・オランダの諸國に屬して

ゐる。我が國が統治してゐる南洋群島はこの洲の北の部分にある。

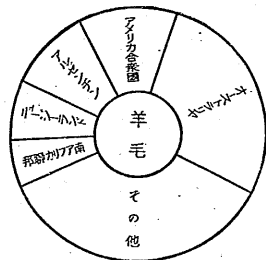
オーストラリヤ

オーストラリヤは地勢が大體高原狀である。中部から西部にかけては雨量が極めて少く、又寒暑の差が甚だしいので、大部分は沙漠又は草原となつてゐて、人類の生活に適しない。しかし南西部には金がたくさん出る處があるので、都會も出來てゐる。

東部の海岸には南北に連なつてゐる山脈があつて、これがために雨が割合に多く、この山

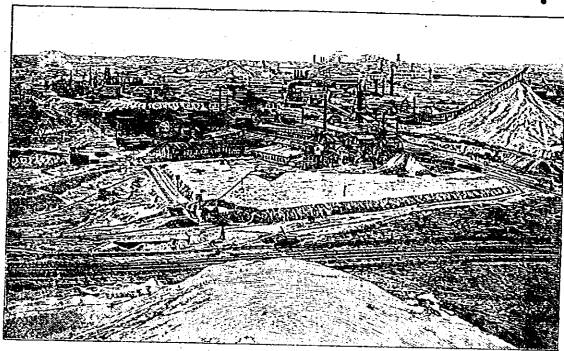


羊牧るけ於にヤリラトスーオ

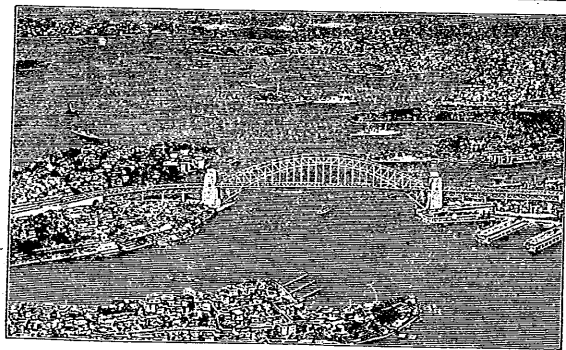


世界に於ける羊毛産額の比較 (1929年)
総産額約六百六十六萬担

でも小麥の栽培、羊や牛の牧畜は最も盛で、羊毛の産額は世界第一であり、小麥、肉類の産額も甚だ多い。これらの農産物、畜産物の大部分はイギリス本國へ輸出される。又鑛業も盛で、石炭、金の産出が少くない。



オーストラリアの金山



シドニー港

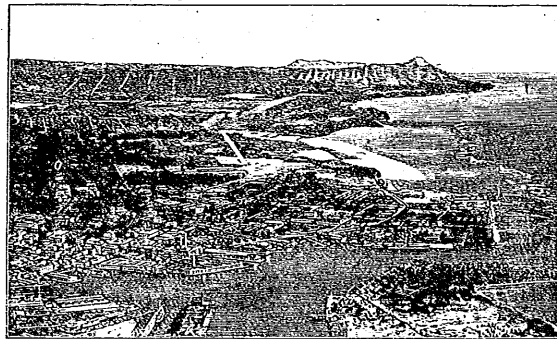
南東部はかやうに産業が盛になるにつれて、海陸の交通も便利となり、都邑も發達してきた。中でもシドニーとメルボルンとは良港であつて、世界の諸港と航路が相通じ、羊毛、小麥を多く輸出する。我が國の汽船もこゝに航路を開いて、我が國からは絹織物を輸出し、この地からは羊毛、小麥を輸入する。首府カンベラはシドニーの南西にある。太平洋上の諸島はパプア島とニューギニア島と諸島との外は、大抵高い火山か低いさんご礁で、い



山火のドンラージュニ

づれも面積が小さく、住民は極めて未開なものが多いため、産業も発達してゐない。しかし太平洋上の交通の要路に當つてゐるために政治上、

軍事上、重要な島々が少くない。ニュージーランドはイギリスの領



港ルルノホ

尋地二

地で南北二島に分れ、一般に山勝ちで火山も多い。氣候が温和であつて、羊の牧畜が廣く行はれ、羊毛の輸出額が多い。

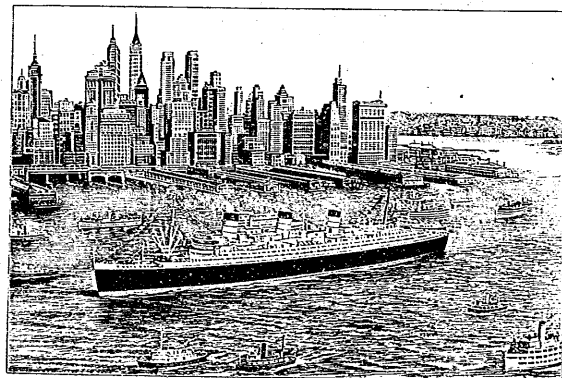
ハワイ諸島はアメリカ合衆國に屬し、熱帯にあるけれども氣候がよく、地味が肥え、さとうきびの栽培が盛である。住民の約四割は我が國人で、その數約十五萬である。ホノルル港はこの諸島の門戸で、太平洋交通上の要地である。

第十四 世界と日本

六大洲

六大洲の中アジア洲とヨーロッパ洲とは早くから開けて、世界の文明國は多くこゝに起つた。随つてこの兩洲は人口が多く、世界の住民の約八割はこゝに住まつてゐる。現

今最も國勢の盛なのは、アジア洲では我が國、ヨーロッパ洲ではイギリス・フランス・イタリア・ドイツ等の諸國である。南北兩アメリカ洲は新大陸と呼ばれてゐて、開け初めてからまだ數百年を経るに過ぎないが、大體氣候が温和である上、天産物も多いから、ヨーロッパ・アジアの各地からこゝに移住するものが増加するにつれて、その開發は著しく進歩した。殊に北アメリカ洲のアメリカ合衆國は國勢が極めて盛で、世界

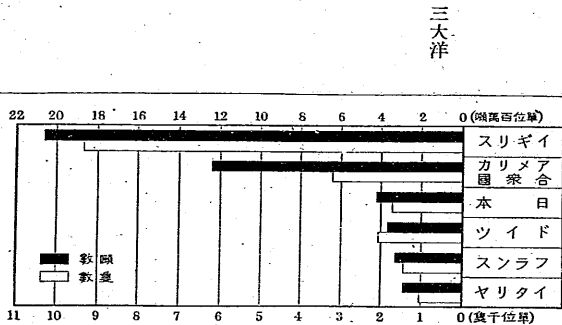


船汽なき大の路航洋西大

尋地二

で一二を爭ふ強國となつてゐる。

アフリカ洲・大洋洲は殆どその全部がイギリス・フランス及びアメリカ合衆國等の領地となつてゐる。



(年九和昭) 噸數と隻數の(上以噸百)船汽の國要主

三大洋即ち太平洋・大西洋・印度洋の中で、大西洋はヨーロッパ洲と南北兩アメリカ洲との海上交通の要路で、航路が最も多く、又交通する船の數も最も多い。實に世界の商船の過半は大西洋の上を往來してゐるのである。

印度洋はヨーロッパ洲とアジア洲とを連絡する海上交通の要路である。殊にスエ

ズ運河が開通してから、この兩洲の間の航路が大いに短縮され、船の往來が益盛になつて來た。

太平洋は三大洋中の最も大きな海で、アジア・大洋洲と南北兩アメリカ洲とを連絡する海上交通の要路である。それ故日本をはじめ沿岸諸國が發達するに伴ひ、航路も著しく發達した。加ふるにパナマ運河が開通して、大西洋との連絡が容易となつたので、太平洋を航行する船の數も大いに増加し、太平洋は世界交通上、一層重要なものとなつた。

我が國

我が國はアジア洲の東部、太平洋の北西部にあつて、世界交通上の要路に當り、國運が次第に進み、今では世界の主要國の一となつてゐる。

尋地二

我が國は世界の約四十箇國と條約を結び、イギリス・ドイツ・フランス・イタリヤ・アメリカ合衆國をはじめ主な國には大使館を置き、その他の國には大い公使館を置いてゐる。かくて汽船は互に往來し、通信は迅速に交換せられ、交通や貿易は年を追うて益發達して行く。

今や我が國は世界の海運上及び貿易上に於て相當の勢力を占め、國勢が甚だ盛になつて來た。しかしイギリスやアメリカ合衆國に比べると、その間にかなりの隔りがある。それ故國民は更に一層の努力を要する。

地球の表面

地球の
大きさ

地球は形が球のやうで、その直径は凡そ一萬二千七百キロメートルであるが、東西の直径は南北の直径よりも凡そ四十三キロメートル長い。

陸地と海

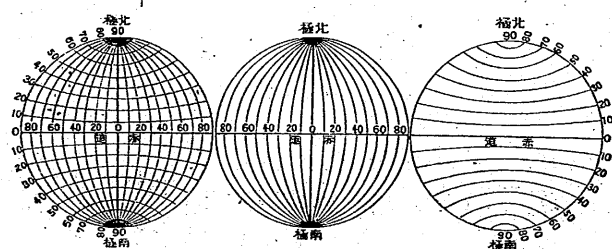
地球の表面は高低が一樣でなく、高い處は陸地となり、低い處は海洋となつてゐる。陸地の面積と海洋の面積との比は三と七である。

海洋は三大洋に分たれ、陸地は六大洲に分たれる。陸地の大部分は北半球にある。

經緯
線

地球の南北の直径を地軸といひ、その北の端を北極、南の端を南極といふ。地球の表面に於て南北兩極を結び付ける半圓周を假想して、これを經線又は子午線といひ、極か

緯線

經緯
度

緯線 經線 緯線 經線 緯線 經線

ら等距離の地點を連ねる線を假想して、これを緯線といふ。緯線の中で兩極から等距離にあるものを赤道と呼ぶ。

經線はイギリスのグリニチ天文臺を通ずるものを假想して、これを零度とし、これを本として、東のは東經何度、西のは西經何度と數へ、各百八十度で終る。この百八十度の經線は、東經も西經も同じ一線である。

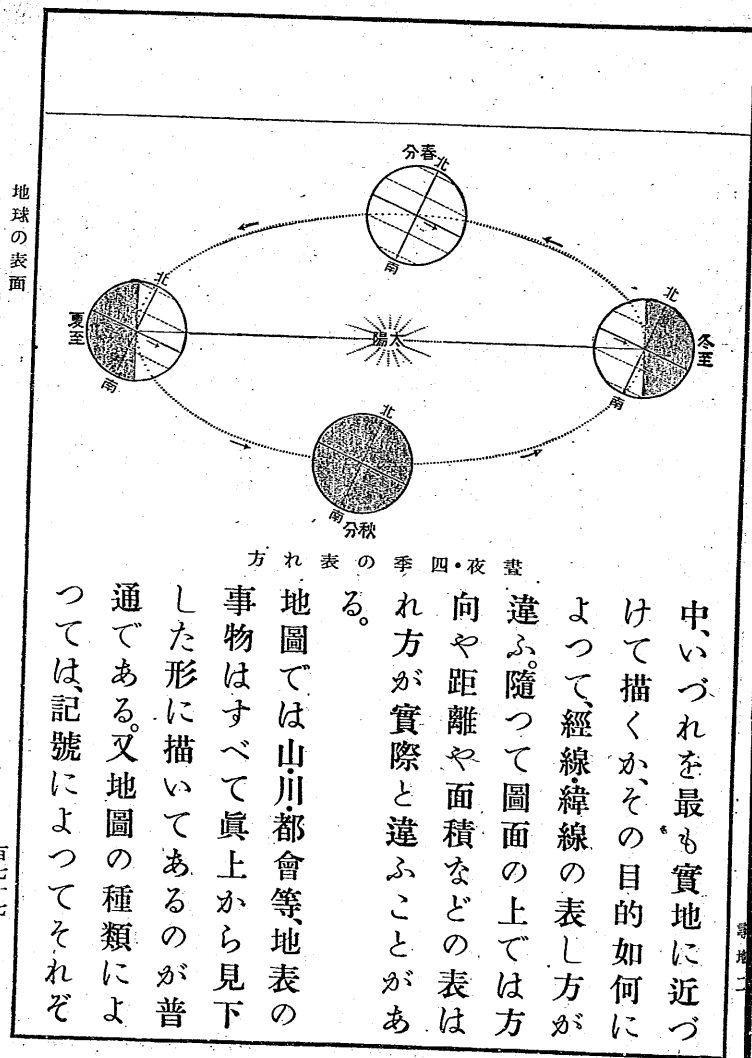
緯線は赤道を零度とし、これを本として、北のは北緯何度、南のは南緯何度と數へ、各九十度で終る。北緯九十度は北

め
地
方
の
定

地
圖

極、南緯九十度は南極で、いづれも點である。
經度も緯度も一度は六十分、一分は六十秒に分ける。
經線は南北の線で、緯線は東西の線であるから、地球表面
のあらゆる地點は、この兩線によつて明らかに指示する
ことが出来る。例へば東京天文臺は東經百三十九度四十
四分四十一秒の線と北緯三十五度三十九分十六秒の線
とが交つた處にあるといへば、その場所が極めて明らか
に知られるのである。

地圖をつくるには經線と緯線とを本として、實際の大い
さを縮めて描くのであるが、地球の表面は球の表面のや
うになつてゐるから、實際の形そのまゝに、平たい紙面に
描き表すことがむづかしい。それ故方向・距離・面積などの



方
れ
表
の
季
四・夜
晝

中、いづれを最も實地に近づけて描くか、その目的如何によつて、經線・緯線の表し方が違ふ。随つて圖面の上では方向や距離や面積などの表はれ方が實際と違ふことがある。
地圖では山川都會等、地表の事物はすべて眞上から見下した形に描いてあるのが普通である。又地圖の種類によつては、記號によつてそれぞ

季・晝夜・四

間に經度の差
のよる時差

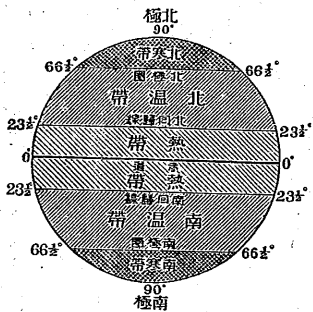
れの事物を示してある。
地球は前の圖に示してあるやうに傾いてゐて、地軸を軸として西から東に廻轉しながら、大體きまつた道を通つて太陽のまほりを西から東にめぐつてゐるのである。地球が地軸を軸として一廻轉するには一日を要し、太陽のまほりを一周するには一年を要する。この一廻轉によつて晝夜の別が起り、一周によつて四季の別が生ずる。
地球はほゞ二十四時間に一廻轉するから、地表の地點はこの間に三百六十度をめぐる。随つて一時間には十五度をめぐる割合になる。それ故に經度十五度を隔てた甲の地點と乙の地點との間には、時間に一時間の差が出来る。東京は東經百三十九度餘であるから、グリニチに比べる

尋地二

と九時間餘早い。即ち東京の午前九時はグリニチの午前零時頃である。

赤道と北緯の季節の違ひ

氣候帯



季節は赤道の北と南とて反對になつてゐる。例へば我が國の夏はオーストラリアの冬で、オーストラリアの夏は我が國の冬である。

赤道附近はこれを熱帯といひ、兩極附近はこれを寒帯といふ。熱帯は北緯二十三度半と南緯二十三度半との間で、赤道から北を北熱帯といひ、南を南熱帯といふ。寒帯は北極と北緯六十六度半との間及び南極と南緯六十六度半との間で、北のを北寒帯と呼び、南のを南寒

地球の表面

帶と呼ぶ。熱帶と寒帶との間は温帶で、北半球の温帶は北温帶、南半球の温帶は南温帶といふ。

熱帶地方は太陽に眞上から照され、一般に気温が高く、暑い。寒帶地方は太陽の光を甚しく斜に受けて、一般に気温が低く、寒氣が強い。しかし気温は水と陸との分布、海流などの影響を受けて、非常に變化するものであるから、同じ緯度にある處でも甚しく違ふことがある。温帶地方は一般に氣候が温和で、人類の生活に適してゐる。

尋常小學地理書 卷二終

尋常小學地理書

附錄

行政廳名	管轄區域	行政廳所在地
北海道廳	渡島國、後志國、石狩國、天塩國、北見國、釧路國、根室國、千島國	札幌市
樺太廳	樺太島の北緯五十度以南の地	豊原市
臺灣總督府	臺灣島及びその屬島、澎湖諸島	臺北市
朝鮮總督府	朝鮮半島及びその屬島	京城府
關東州廳	關東州	大連市
南洋廳	カロリン群島、マーシャル群島及びマリアナ群島の大部分	コロール島

附錄

391
33

昭和十四年三月十五日印刷
昭和十四年三月十七日發行

(非賣品)

(本書插畫ハ陸軍省許可濟)

著作權所有 發行者兼 文 部 省

東京市小石川區久堅町百八番地

印刷者 大 橋 光 吉

東京市小石川區久堅町百八番地

印刷所 共同印刷株式會社

K130.21-4-2
5

